令和８年（2026 年）６月 29 日
午前 10 時～正午
青少年活動サポートプラザ多目的ホール

令和８年６月社会教育委員会議　全体会

次　　第

１　社会教育委員・事務局紹介　P1

２　令和８年５月定例会

（１）吹田市吹一地区公民館及び吹田市吹一地区高齢者いこいの間建設工事（建築工事）請負契約の一部変更について　P2

（２）吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の一部変更について（２件）　P3～4

（３）重文旧西尾家住宅主屋ほか６棟建造物保存修理工事（Ⅰ期工事）請負契約の一部変更について　P5

（４）吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）請負契約の締結について　P6～16

３　令和７年度（2025 年度）実施事業教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について　別紙資料１

４　各所管からの報告

（１）まなびの支援課：生涯学習吹田市民大学の開催について　　P17

（２）文化財保護課：博物館利用に関するアンケート調査結果　ほか

P18～37

（３）青少年室：青少年相談事業について　　P38

別紙資料２

（４）放課後子ども育成室：（仮称）放課後児童クラブ入室希望児童数増加への対策対応プラン（案）について　　P39～47

５　その他のお知らせ

（１）文化財保護課：博物館さわる月間　ほか　　P48～51

（２）青少年室：吹田青少年さつき音楽祭の開催について　ほか　P52～56

～　閉　会　～

・子育て青少年拠点夢つながり未来館（ゆいぴあ）施設見学　（希望者のみ）

吹田市社会教育委員名簿

令和8年6月1日

	氏　　名	所属団体等
学校教育	江下（えした）　毅（たけし）	吹田市立千里第三小学校
	田尻（たじり）　誠（まこと）	大阪府立吹田東高等学校
社会教育	大嶋（おおしま）　啓史（ひろし）	吹田市こども会育成協議会
	尾﨑（おざき）　孝（たかし）	吹田市青少年指導員会
	兵頭（ひょうどう）　明美（あけみ）	吹田市ガールスカウト連絡会
関係教育家庭	澤田（さわだ）　佳奈映（かなえ）	吹田市PTA協議会
学識経験者	杉山（すぎやま）　伸一（しんいち）	大阪学院大学
	知念（ちねん）　渉（あゆむ）	大阪大学大学院
	西沢（にしざわ）　佳子（よしこ）	元 吹田市南千里地区公民館長
	村田（むらた）　芳昭（よしあき）	元 吹田市青少年指導員会
	山ノ内（やまのうち）　裕子（ゆうこ）	関西大学
	和田（わだ）　大志郎（だいしろう）	元 吹田市PTA協議会

社会教育委員会議資料

地域教育部まなびの支援課

吹田市吹一地区公民館及び吹田市吹一地区高齢者いこいの間建設工事（建築工事）
請負契約の一部変更について

1　工 事 名　　吹田市吹一地区公民館及び吹田市吹一地区高齢者いこいの間建設工事（建築工事）

2　工事場所　　吹田市内本町２丁目 2905 番 1

3　工　　期　　令和７年（2025 年）７月２日から令和８年（2026 年）７月 31 日まで

4　変更内容　　請負金額
変更前　　250,153,200 円（うち消費税等額　22,741,200 円）
変更後　　256,038,200 円（うち消費税等額　23,276,200 円）
増額金額　　5,885,000 円（うち消費税等額　　535,000 円）

5　変更理由　　国より要請通知を受けた賃金等の急激な変動に伴う工事請負契約書第２６条第６項（インフレスライド条項）の適用により、請負金額を変更するもの。

社会教育委員会議資料

地域教育部まなびの支援課

吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の一部変更について

1　概要

本年の５月定例会において「吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の一部変更について」の議案で、地中障害による工事期間の延長に伴う工期の変更のほか、この延長とインフレスライド条項適用による工事金額の増額に伴う請負金額の変更の内容で提案する予定でしたが、昨年９月定例会に提案した当該工事請負契約の締結の議案において、工期の終期に誤りがあったことが今般判明しました。

今回、工期の終期を令和８年９月30日から令和８年６月15日に正しく改める工事請負契約の一部変更の議案を提案し、承認する議決を得られれば、その後、当初予定していた令和８年６月15日から令和８年７月21日への工期の変更のほか、この工期の変更とインフレスライド条項適用に伴う工事請負金額の変更を行う工事請負契約の一部変更の議案を追加提案させていただきたいと考えております。

2　経過

⑴令和６年度

関係部局との打合せ時点では令和８年（2026年）９月30日までの工期であった。

⑵令和７年（2025年）５月27日

資産経営室が、契約検査室に工事の執行及び契約手続の依頼について起案し、まなびの支援課に合議（工期の終期は、令和８年（2026年）６月15日）

⑶令和７年９月定例会

工事の請負契約に係る議案について工期の終期を令和８年（2026年）９月30日までとし提案・議決

⑷令和８年５月定例会

地中障害による工期の延長とこの延長及びインフレスライド条項適用による工事費増額に関する工事請負契約の一部変更議案を作成するものの、工期の誤認に気付かず、工期の終期を令和８年（2026年）６月15日から７月21日へ変更する方向で準備

⑸令和８年（2026年）５月14日

議案書の完成時に、令和７年９月定例会で議決をいただいた工期の終期に誤りがあったことが判明

社会教育委員会議資料

地域教育部まなびの支援課

吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の一部変更について

1　工 事 名　　吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）

2　工事場所　　吹田市吹東町３番６号

3　変更内容

（１）工期

変更前　　令和７年（2025 年）10 月 1 日から令和８年（2026 年）６月 15 日まで

変更後　　令和７年（2025 年）10 月 1 日から令和８年（2026 年）７月 21 日まで

（２）請負金額

変更前　　152,414,900 円（うち消費税等額　13,855,900 円）

変更後　　156,550,900 円（うち消費税等額　14,231,900 円）

増額金額　　4,136,000 円（うち消費税等額　　376,000 円）

4　変更理由　　増築する昇降機棟の杭打設時に地中障害があり、杭打設ができない箇所があることが判明し、地中障害の撤去と杭の再打設に 1 か月程度の期間を要したことから、工期を変更するとともに、変更に伴う経費の増額と国より要請通知を受けた賃金等の急激な変動に伴う工事請負契約書第２６条第６項（インフレスライド条項）の適用により、請負金額を変更するもの。

令和８年６月 29 日
社会教育委員会議資料
文 化 財 保 護 課

重文旧西尾家住宅主屋ほか６棟建造物保存修理工事（Ⅰ期工事）請負契約の一部変更について

１　工 事 名　重文旧西尾家住宅主屋ほか６棟建造物保存修理工事（Ⅰ期工事）

２　工事場所　吹田市内本町２丁目 15 番 11 号

３　変更部分

（１）工期

変更前　　令和４年（2022 年）７月１日から令和 ９年（2027 年）３月 15 日まで

変更後　　令和４年（2022 年）７月１日から令和 10 年（2028 年）６月 30 日まで

（２）請負金額

変更前　　934,439,000 円（うち消費税等額　84,949,000 円）

変更後　　1,204,559,600 円（うち消費税等額 109,505,418 円）

増額金額　　270,120,600 円（うち消費税等額　24,556,418 円）

４　変更理由　解体工事や詳細な調査を進める中で、建物の一部が別の建物等と躯体の構造をなす柱を共有していることや、当住宅の改造の履歴等により文化財保護の観点から改変部分を復原する必要があることのほか、一部の建物の経年劣化が想定以上に進んでいることなどが判明したため、本工事での一体的な修理等による対応が必要なことから、工事内容を一部変更し、工期及び請負金額をそれぞれ変更するものです。

社会教育委員会議資料
地域教育部青少年室

吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）

1　請負金額　　２０４，７２１，０００円

2　請負者　　吹田市岸部中１丁目２４番１号
株式会社　大創
代表取締役　仲西　大

3　別途発注工事
（１）吹田市立自然の家大規模改修工事（電気設備工事）
（２）吹田市立自然の家大規模改修工事（機械設備工事）

営　業　の　沿　革

株 式 会 社 大 創

創　　業		平成１５年　４月　１日 （２００３年）
創業後の沿革	仲西塗装店　創業	平成１５年　４月　１日 （２００３年）
	大阪府知事許可（般－３０）第１５０５３８号　建、塗　工事業	平成３０年　９月２１日 （２０１８年）
	廃業　建、塗　工事業	平成３１年　２月２８日 （２０１９年）
	株式会社大創設立　資本金８００万円	平成３１年　３月　１日 （２０１９年）
	大阪府知事許可（般－２）第１５３５０９号　建、大、左、と、石、屋、タ、鋼、筋、板、ガ、塗、防、内、絶、具、解工事業	令和　２年　５月　１日 （２０２０年）
	資本金増資　２，０００万円	令和　４年　２月２１日 （２０２２年）
	大阪府知事許可（特－２）第１５３５１０号　土、建、大、左、と、石、屋、タ、鋼、筋、し、板、ガ、塗、防、内、絶、具、水、解　工事業	令和　７年　３月２８日 （２０２５年）

工　事　経　歴　書

株　式　会　社　大　創

工　　事　　名	発注者	請負金額（千円）	工　　期
吹田市立東佐井寺小学校教室改修工事（建築工事）	吹田市	21,604	令和　６年（２０２４年）　６月 ～ 令和　６年（２０２４年）　９月
吹田市古江台市民ホール及び吹田市古江台地区高齢者いこいの間改修工事	吹田市	21,569	令和　６年（２０２４年）１０月 ～ 令和　７年（２０２５年）　２月
吹田市立中の島スポーツグラウンド野球場ナイター施設LED照明設備更新工事（建築工事）	吹田市	23,117	令和　７年（２０２５年）　６月 ～ 令和　８年（２０２６年）　１月
吹田市立垂水保育園改修工事（建築工事）	吹田市	35,577	令和　７年（２０２５年）　７月 ～ 令和　８年（２０２６年）　２月

株式会社大創

貸借対照表

（令和 7年 2月28日現在）

（単位　円）

［資産の部］		
1　流動資産		217,879,436
2　固定資産		42,810,966
資産合計		260,690,402
［負債の部］		
1　流動負債		73,683,744
2　固定負債		108,724,000
負債合計		182,407,744
［純資産の部］		
1　資本金		20,000,000
2　利益剰余金		58,282,658
純資産合計		78,282,658
負債純資産合計		260,690,402

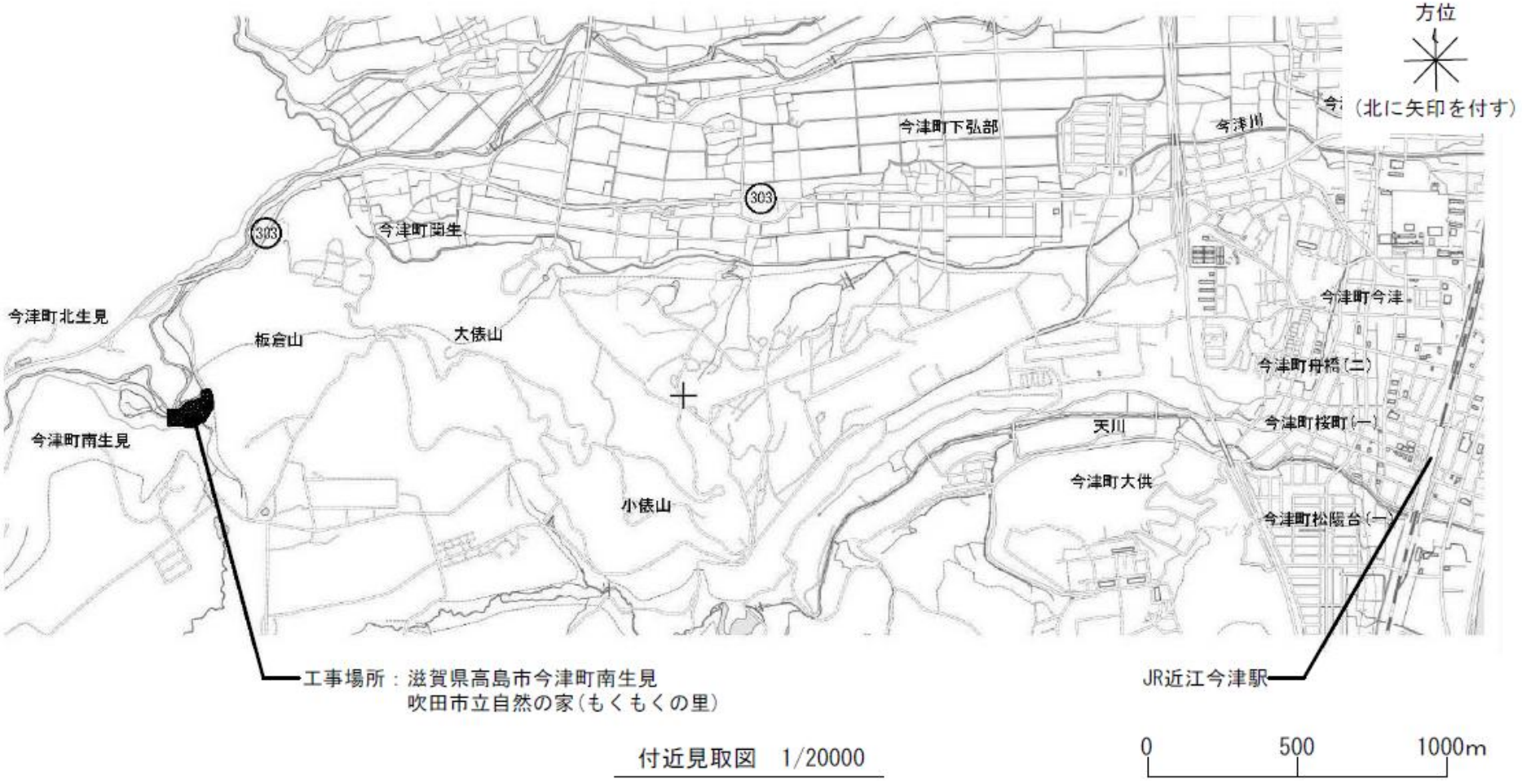
損益計算書

自　令和 6年 3月 1日
至　令和 7年 2月28日

（単位　円）

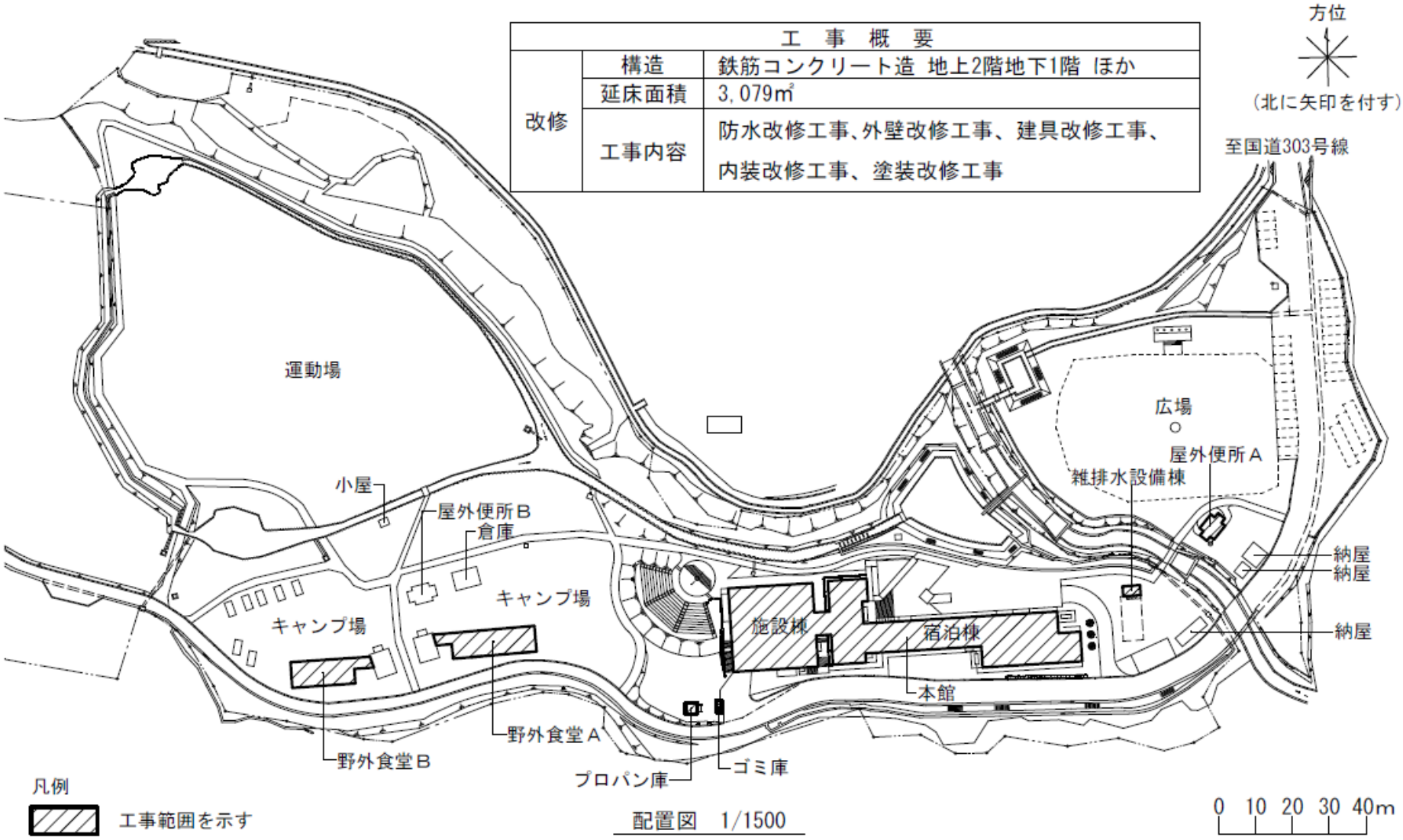
［経常損益の部］		
1　営業損益		
(1)売上高	468,358,511	Ⓐ
(2)売上原価	370,728,708	Ⓑ
売上総利益	97,629,803	Ⓒ＝Ⓐ－Ⓑ
(3)販売費及び一般管理費	60,084,831	Ⓓ
営業利益	37,544,972	Ⓔ＝Ⓒ－Ⓓ
2　営業外損益		
(1)営業外収益	3,834,219	Ⓕ
(2)営業外費用	1,258,979	Ⓖ
経常利益	40,120,212	Ⓗ=Ⓔ+Ⓕ－Ⓖ
［特別損益の部］		
1　特別利益	15,365,554	Ⓘ
2　特別損失	1,249,194	Ⓙ
税引前当期純利益	54,236,572	Ⓚ=Ⓗ+Ⓘ－Ⓙ
法人税、住民税及び事業税	19,070,100	Ⓛ
当期純利益	35,166,472	Ⓜ=Ⓚ－Ⓛ
		Ⓝ
		Ⓞ=Ⓜ+Ⓝ

吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）

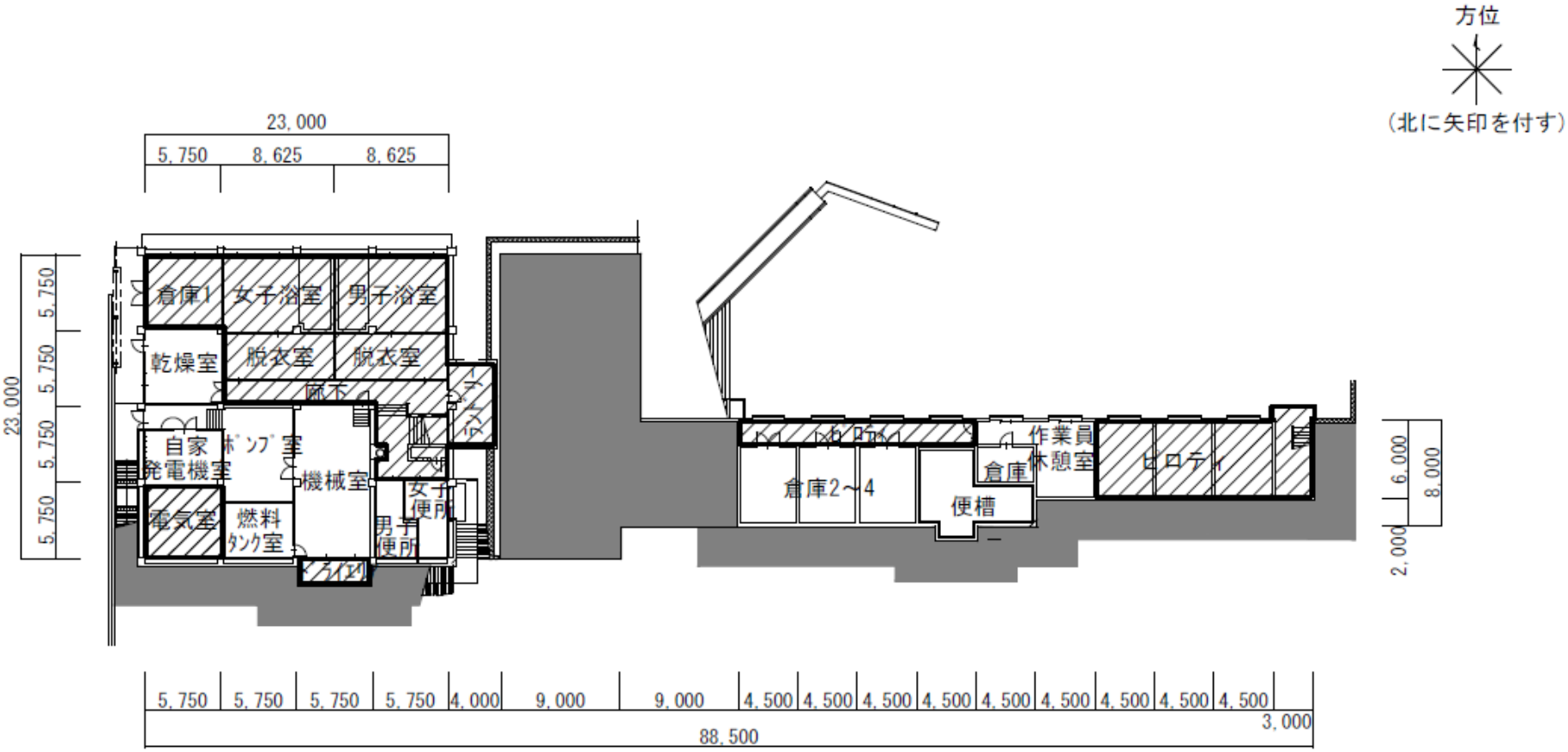


付近見取図　1/20000

工　事　概　要		
改修	構造	鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階 ほか
	延床面積	3,079㎡
	工事内容	防水改修工事、外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事、塗装改修工事



配置図　1/1500

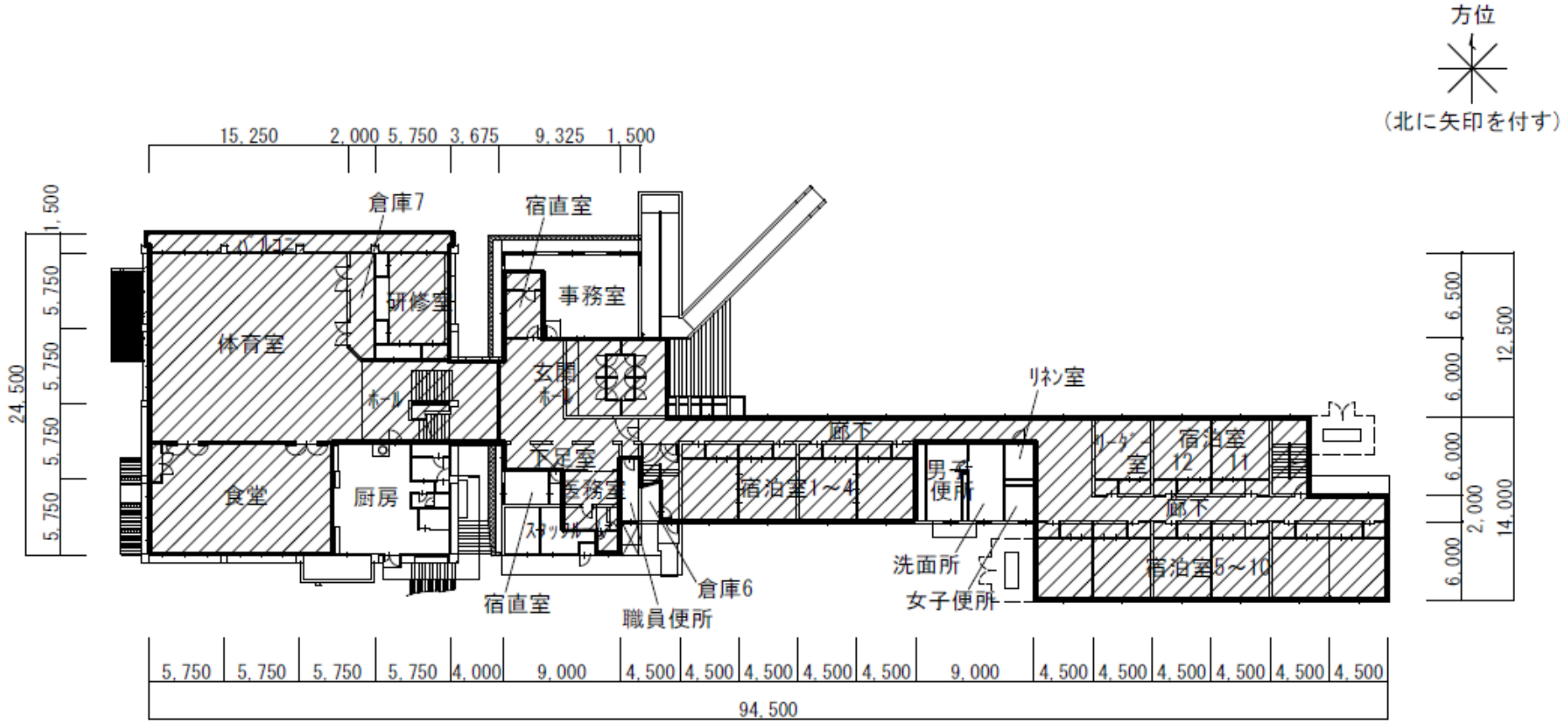


凡例

工事範囲を示す

地下１階平面図　1/500

0　10　20　30m

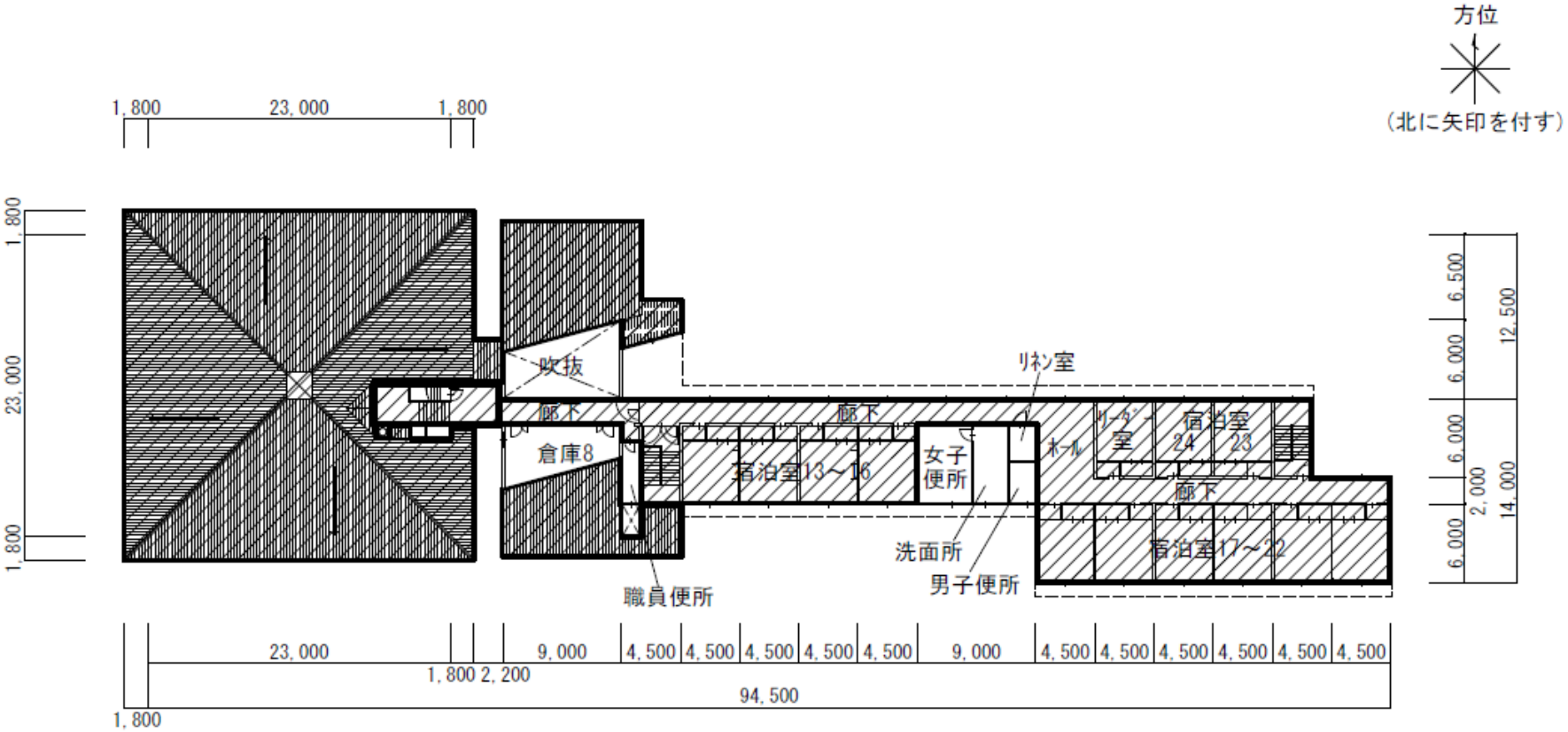


凡例

工事範囲を示す

1階平面図　1/500

0　10　20　30m



凡例

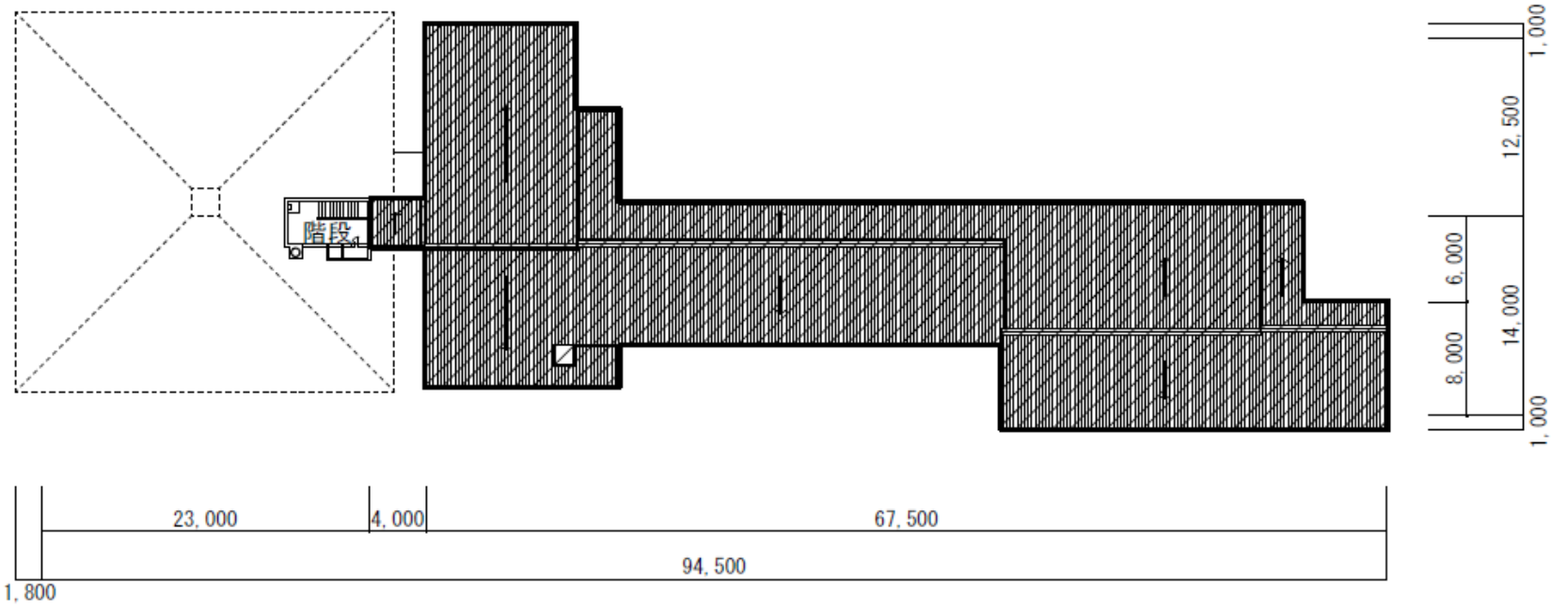
工事範囲を示す

２階平面図　1/500

0　10　20　30m

方位

（北に矢印を付す）

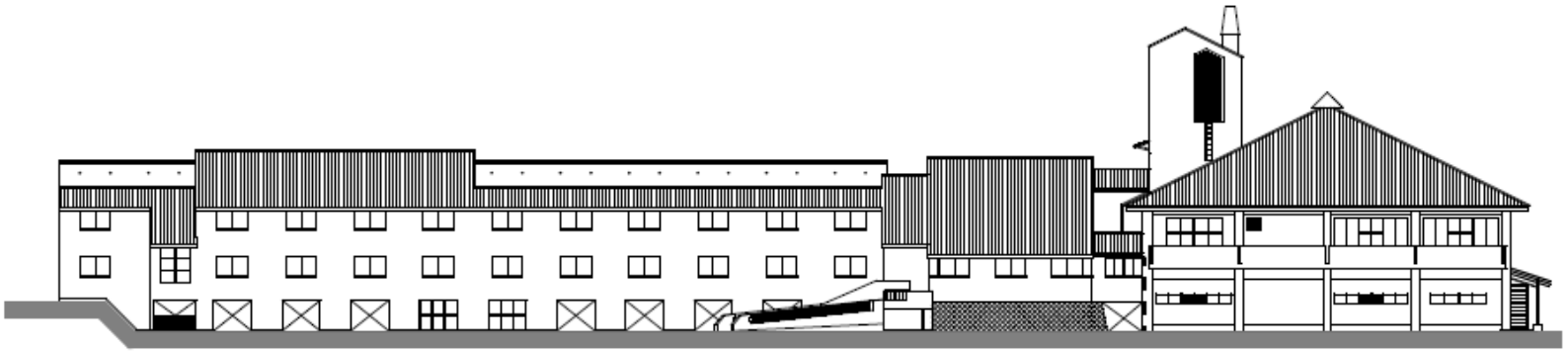


凡例

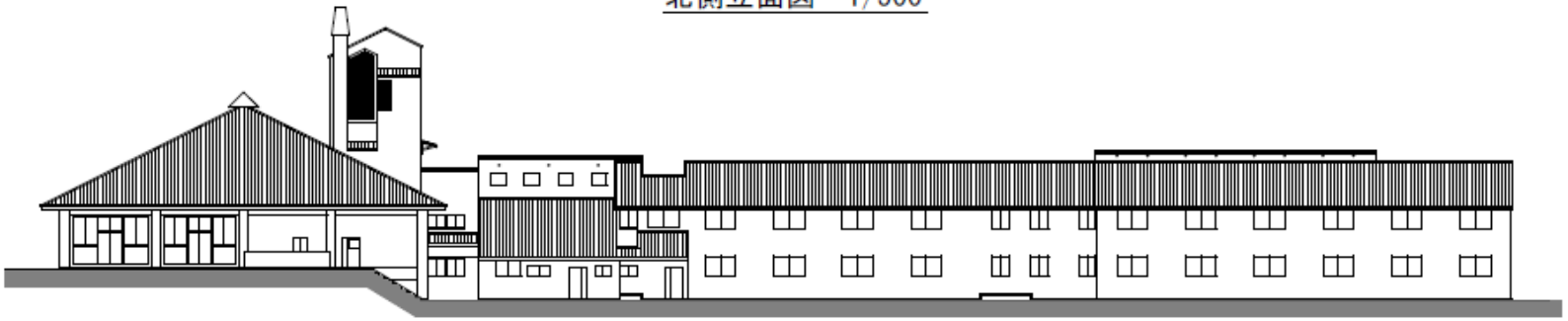
工事範囲を示す

屋根伏図　1/500

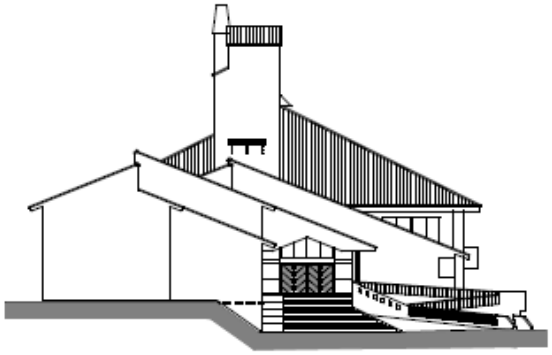
0　10　20　30m



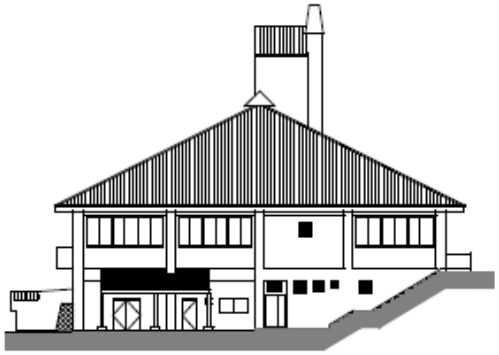
北側立面図　1/500



南側立面図　1/500



東側立面図　1/500



西側立面図　1/500



社会教育委員会議資料

地域教育部まなびの支援課

1　標題　（□　協議　　☑　報告　　□　レク）

令和８年度 生涯学習吹田市民大学　第５５回　関西大学講座の実施について

2　目的（結論・到達点）

市と大学が共催で実施することで、市民に社会情勢や現代的課題が学べる幅広い学習の場を提供し、いつでもどこでも学べる環境づくりを進めます。関西大学とは、例年、前期・後期の2回実施しています。

タイトル：太閤はんの時代を読み解く―豊臣秀吉と大阪の記憶―
開催形式：会場受講
会　　場：関西大学　千里山キャンパス　千里ホール
定　　員：200名
※定員を超える352名の申込みがあったため、より収容人数の多い会場に変更した結果、申込者全員の受講を可能としました。

開催日	講座テーマ
6月 3日（水）	豊臣期大坂図屏風のデジタルコンテンツ制作
6月10日（水）	城郭における地震対策
6月17日（水）	豊臣秀吉の寺社政策と方広寺大仏
6月24日（水）	「太閤はん」と庶民の夢～立身出世と東京ぎらい～

開催時間はいずれも、午前10時40分から午後0時10分

3　今後の展望

受講者アンケートによる最新のニーズを把握するとともに、社会教育委員からのご意見も踏まえながら、より質の高い講座が実施できるよう関西大学と連携を進めます。

博物館利用に関するアンケート調査結果

1 調査の概要

(1)調査の目的

吹田市立博物館は、平成4年(1992 年)に開館し、今年で 34 年を迎えます。今後の博物館の在り方を検討し、より良い運営及び施設改善に向けて、幅広く意見を伺い、市民の意識やニーズを調査することを目的とします。

(2)調査方法

ア 一般市民対象

調査期間	令和7年(2025 年)9月1日～9月 30 日
調査対象	市内在住 18 歳以上の市民 2,000 人
抽出方法	無作為抽出
回答方法	郵送又は QR コード読み取りによる Web 上での回答
回答者数	710 人(回答率 35.5%)

イ 児童・生徒対象

調査期間	令和7年(2025 年)7 月中旬～8月下旬
調査対象	小学校 5 年生 533 人、中学校 2 年生 827 人
抽出方法	「JR以南地域」、「豊津・江坂・南吹田地域」、「千里山・佐井寺地域」、「片山・岸部地域」「山田・千里丘地域」、「千里ニュータウン地域」の6つの地域から調査協力校として小学校・中学校から各1校を抽出。
回答方法	上記協力校にアンケートを配布し回収
回答者数	小学生 451 人(回答率 84.6%)、中学生 723 人(回答率 87.4%)

ウ 教員対象

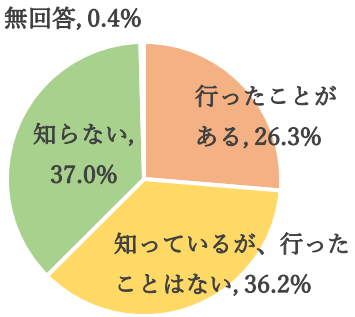
調査期間	令和7年(2025 年)9月上旬～9月 30 日
調査対象	市立小学校学校教育研究会社会科部教員
抽出方法	市立小学校学校教育研究会社会科部教員全員 35 人
回答方法	上記協力教員にアンケートを配布し回収
回答者数	32 人(回答率 91.4%)

2 博物館の認知度・利用状況について

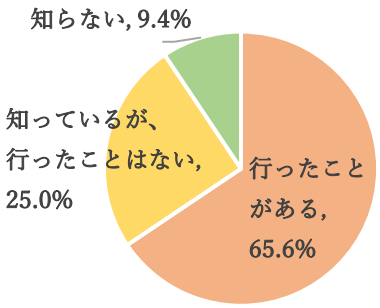
(1)博物館の認知度

「博物館に行ったことがある」と回答したのは、一般市民では 26.3%、教員は 65.6%、小学生では 62.5%、中学生は 34.7%でした。年齢別では 20 歳代・30 歳代の「博物館に行ったことがある」と「知っているが行ったことがない」の割合が低く、それより上の年齢層では約 7 割となっています。「行ったことがある」のは30歳代最も低く(15.4%)、70歳以上の割合が多くなっています。「1回」、「2～5回」の来館者の年齢比は全体の構成比とほぼ同じですが、「6回以上」は70歳代以上が66.7%となっています。

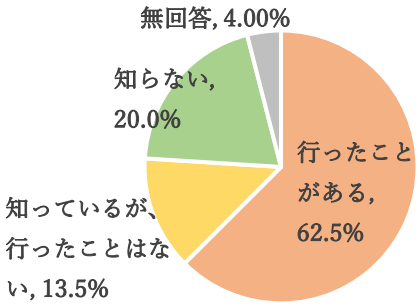
グラフ1　博物館の認知度《一般市民》



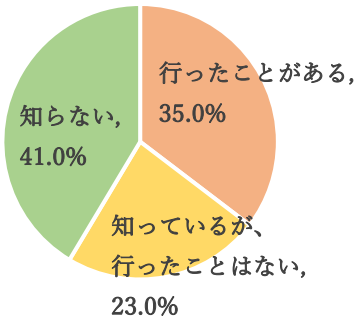
グラフ2　博物館の認知度《教員》



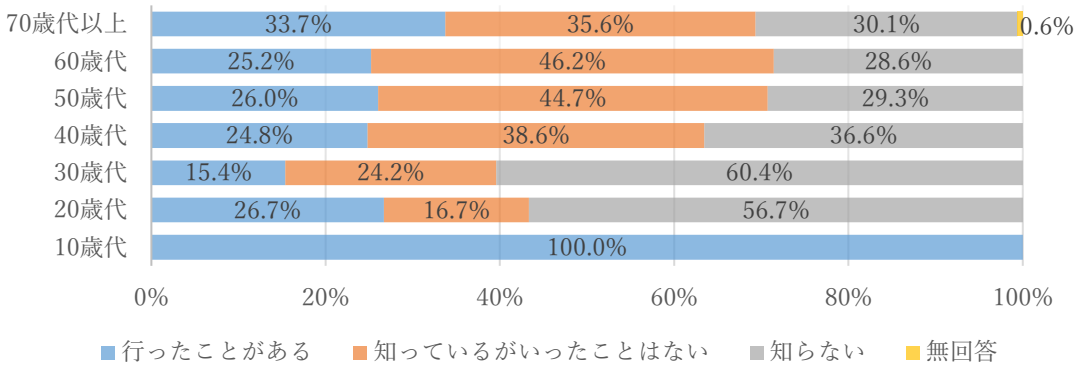
グラフ3　博物館の認知度《小学生》



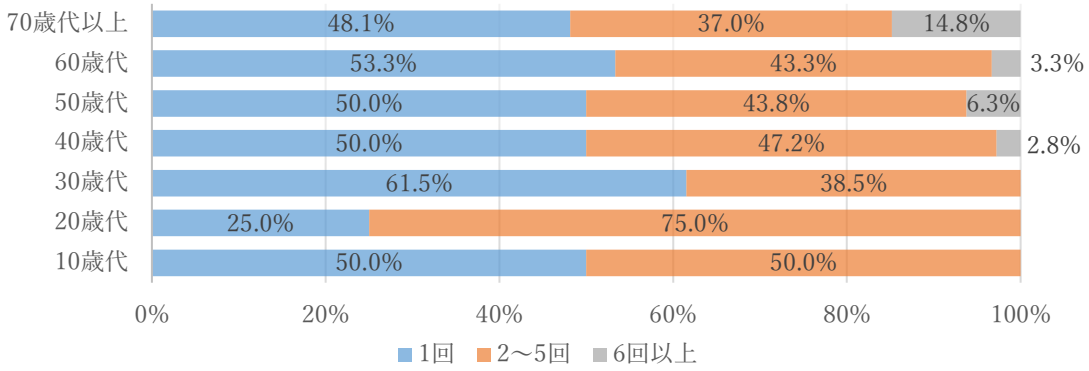
グラフ4　博物館の認知度《中学生》



グラフ5　博物館の認知度《年齢別》



グラフ6　博物館の利用回数《年齢別》

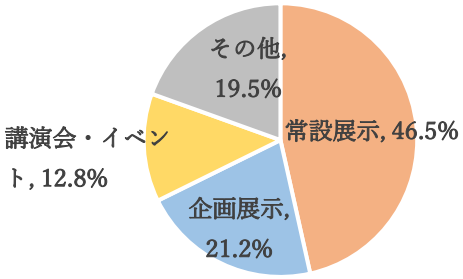


(2)来館の目的

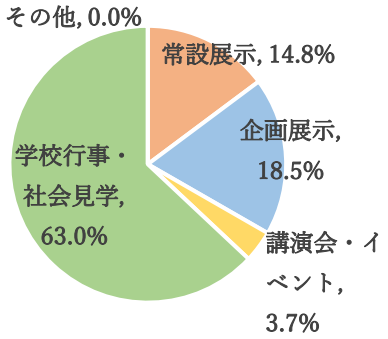
来館の目的は、一般市民では常設展示(46.5%)が最も多く、次いで企画展示(21.2%)、イベント(12.8%)でした。小・中学生及び教員は学校団体見学等で利用した人の割合が多かったです。「6 回以上」来館した小学生は常設展示を目的とし(43.5%)、中学生で「6 回以上」来た人は「講演会・イベント」が最多(51.4%)でした。

一般市民の来館履歴を見ると来館回数が「1回」と「2～5 回」と回答した人の 7 割が「6 年以上前」で、コロナ禍の影響から回復しきれていないことが推測されます。

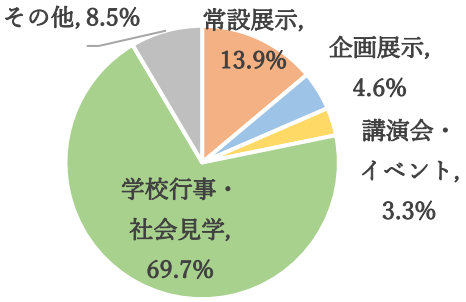
グラフ7 博物館の利用目的《一般市民》



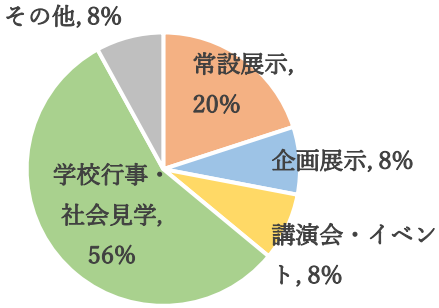
グラフ8 博物館の利用目的《教員》



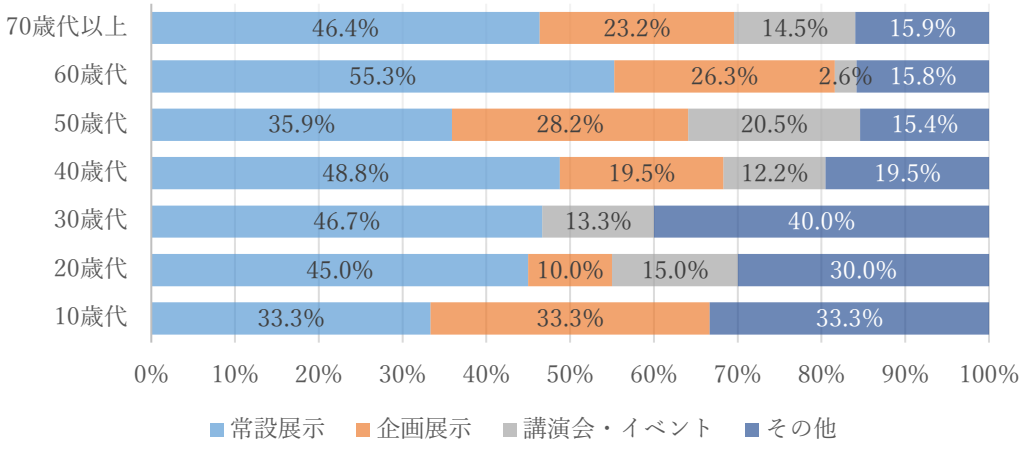
グラフ9 博物館の利用目的《小学生》



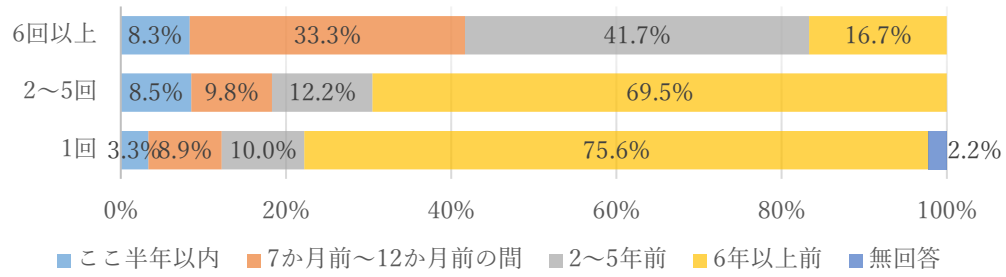
グラフ10 博物館の利用目的《中学生》



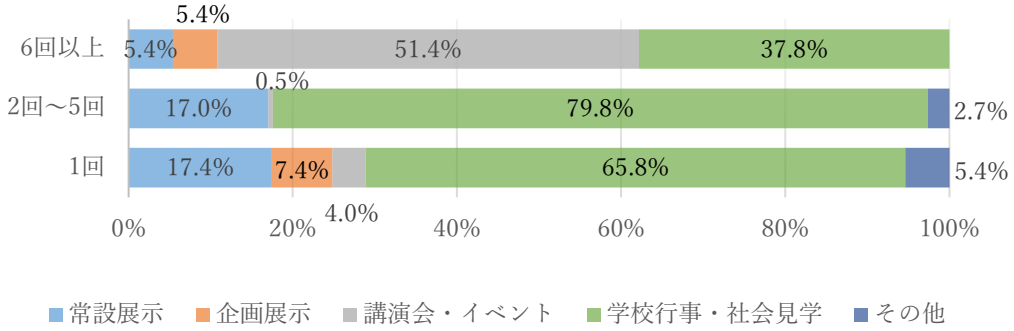
グラフ11 博物館の利用目的《年齢別・一般市民》



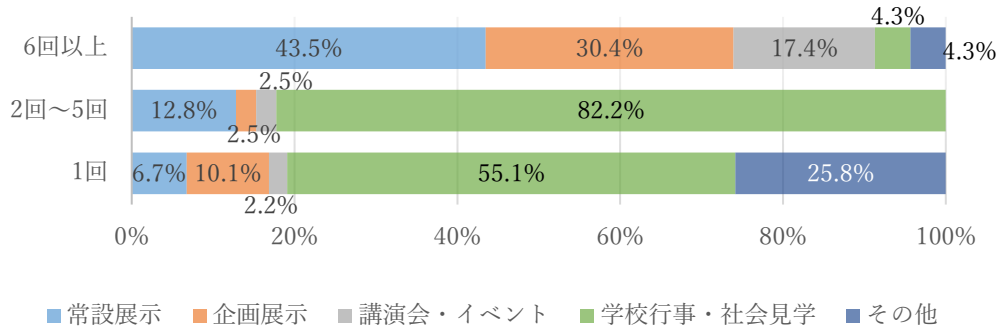
グラフ12　博物館の来館履歴《来館時期別・一般市民》



グラフ13　博物館の来館履歴《目的別・中学生》



グラフ14　博物館の来館履歴《目的別・小学生》



(3)博物館に行かない理由

「博物館を知らない」と回答したのは、一般市民は37.0%、中学生は40.1%、小学生は20.0%でした。「知っているが行ったことはない」のは、一般市民は 36.2%、中学生は 23.1%、小学生は 13.5%で、その理由として、一般市民では「具体的に何があるのかわからない」(39.4%)が最多でした。中学生では「博物館に興味がない」(27.7%)、小学生では「行ける時間がない」(25.9%)が最多でした。「博物館を知らない」とした中学生(2 年生)の割合が多いのは、小学校 3 年生のとき(2020 年)にコロナ禍のため学校団体見学で来館する機会がなかったのも原因と思われます。

「知っているが、行ったことがない」と答えた方にお聞きします。行ったことがない理由は何ですか。（複数回答可）

表１《一般市民》

	全体	博物館に興味がない	具体的に何があるのかわからない	展示内容全般に興味がない	興味がある展示がない	気軽に利用できない	子ども連れで楽しめない	入館料がかかる	アクセスが悪い場所にある	行く時間がない
回答数	467	21	184	10	34	33	10	14	121	40
構成比		4.5%	39.4%	2.1%	7.3%	7.1%	2.1%	3.0%	25.9%	8.6%

表２《小学生》

	全体	博物館に興味が無い	具体的に何があるのかわからない	展示全般に興味がない	興味がある展示がない	気軽に利用できない	アクセスが悪い場所にある	行ける時間がない	その他
回答数	112	23	21	11	9	5	3	29	11
構成比		20.5%	18.8%	9.8%	8.0%	4.5%	2.7%	25.9%	9.8%

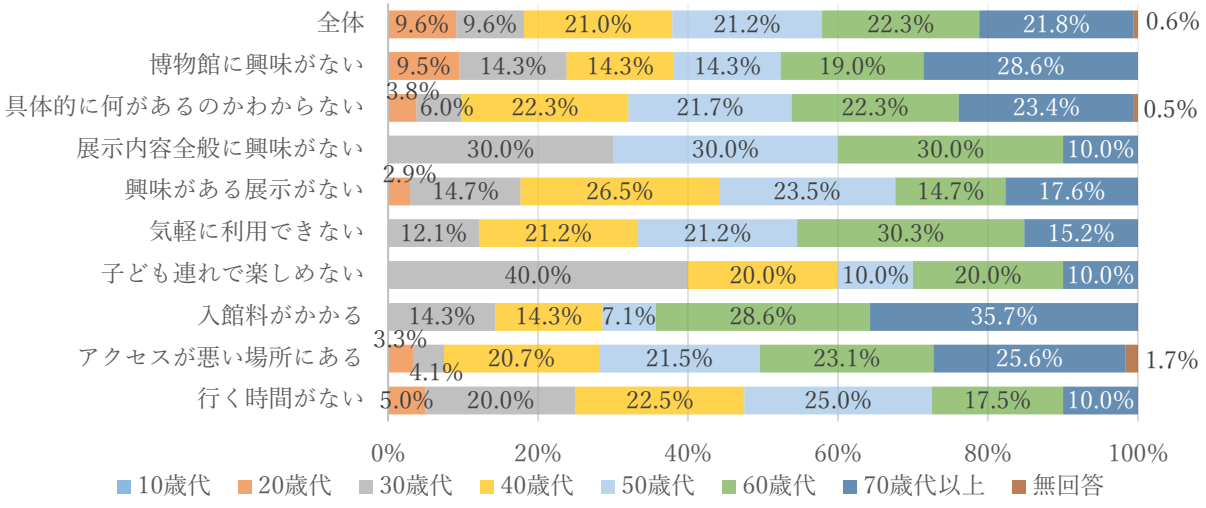
表３《中学生》

	全体	博物館に興味が無い	具体的に何があるのかわからない	展示全般に興味がない	興味がある展示がない	気軽に利用できない	アクセスが悪い場所にある	行ける時間がない	その他
回答数	324	90	62	28	18	24	14	78	10
構成比	100%	28%	19%	9%	6%	7%	4%	24%	3%

表４ 教員

	全体	博物館に興味が無い	具体的に何があるのかわからない	展示内容全般に興味がない	興味がある展示がない	気軽に利用できない	子ども連れで楽しめない	入館料がかかる	アクセスが悪い場所にある	行く時間がない
回答数	12	1	6	0	0	1	0	0	2	2
構成比		8.3%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%

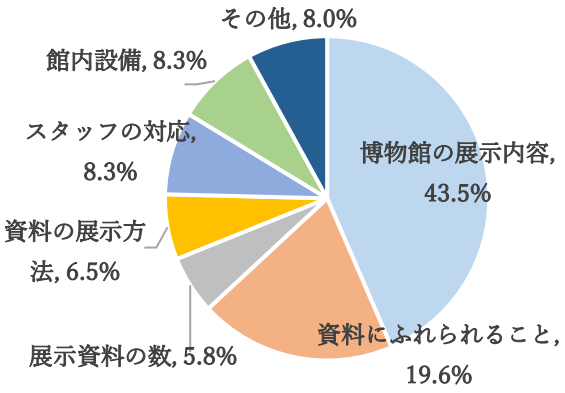
グラフ15 吹田市立博物館に行かない理由《年齢比率》



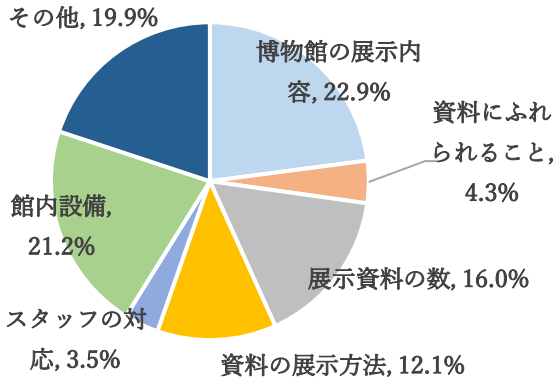
3 博物館の良かった点･改善すべき点

博物館に行ったことがある方に良かった点と改善すべき点について回答を求めたところ、良かった点では一般市民･小中学生とも「展示内容」が最多でした（一般市民 43.5%、中学生 30.4%、小学生 23.1%）。当館で長年取り組んできている「さわる展示」も「よかった」とした人の割合が 19.6%で 2 番目に多かったです。しかし、一般市民では、良かった点として最多であった「展示内容」を改善すべき点として最多（22.9%）の人が挙げられていました。

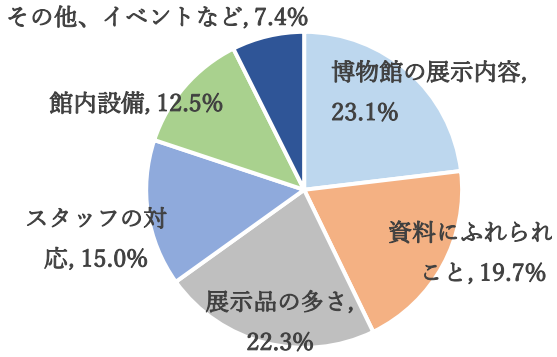
グラフ16 博物館の良かった点《一般市民》



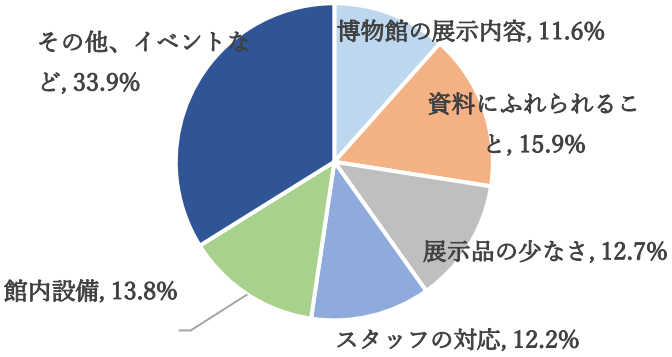
グラフ17 博物館の改善すべき点《一般市民》



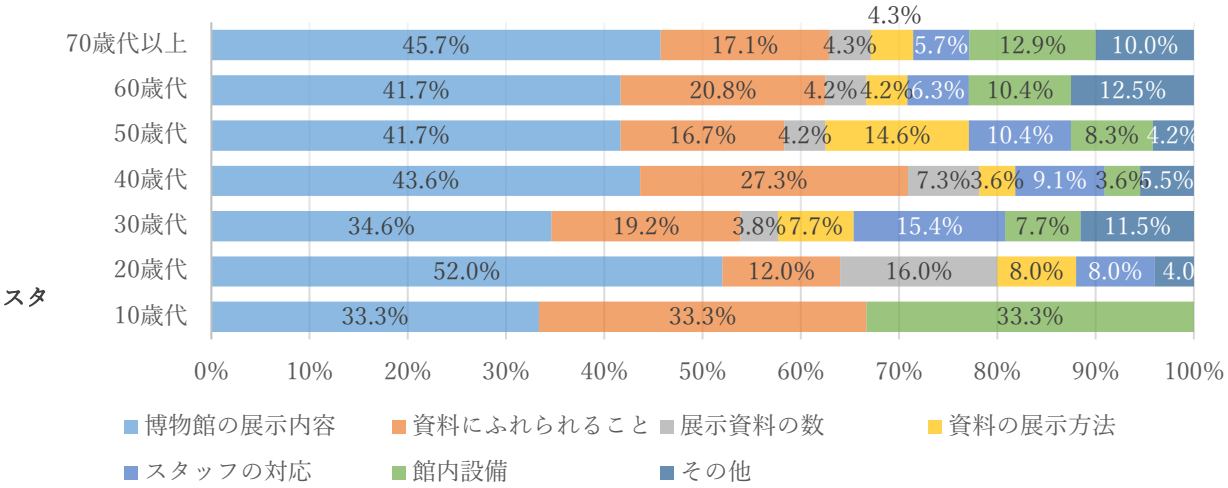
グラフ16 博物館の良かった点《小学生》



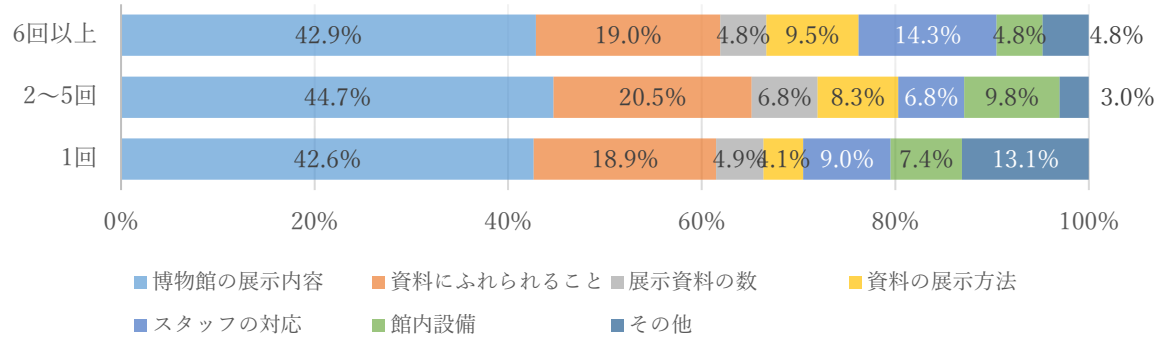
グラフ17 博物館の改善すべき点《小学生》



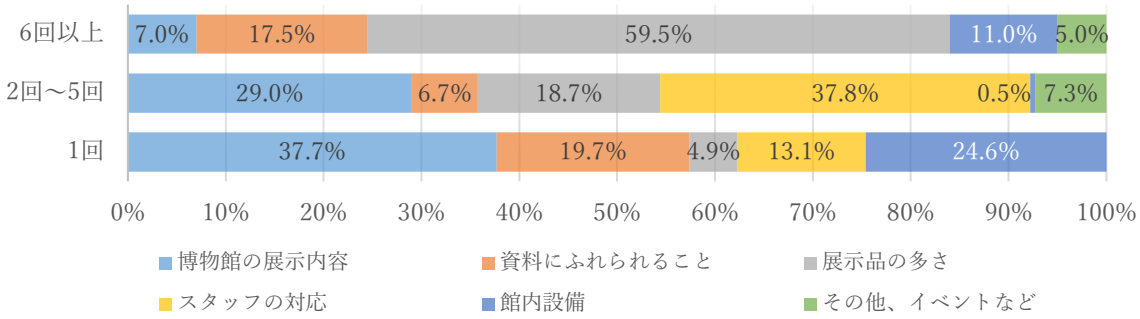
グラフ20 博物館の良かった点《年齢別》



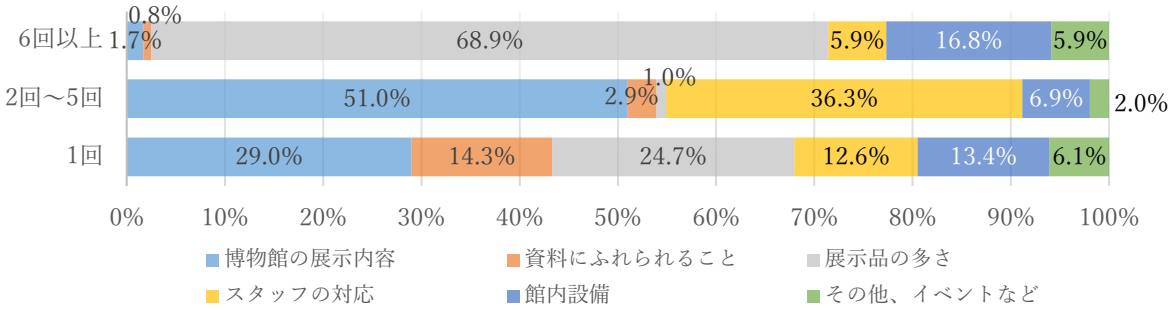
グラフ21　博物館の良かった点《来館履歴別・一般市民》



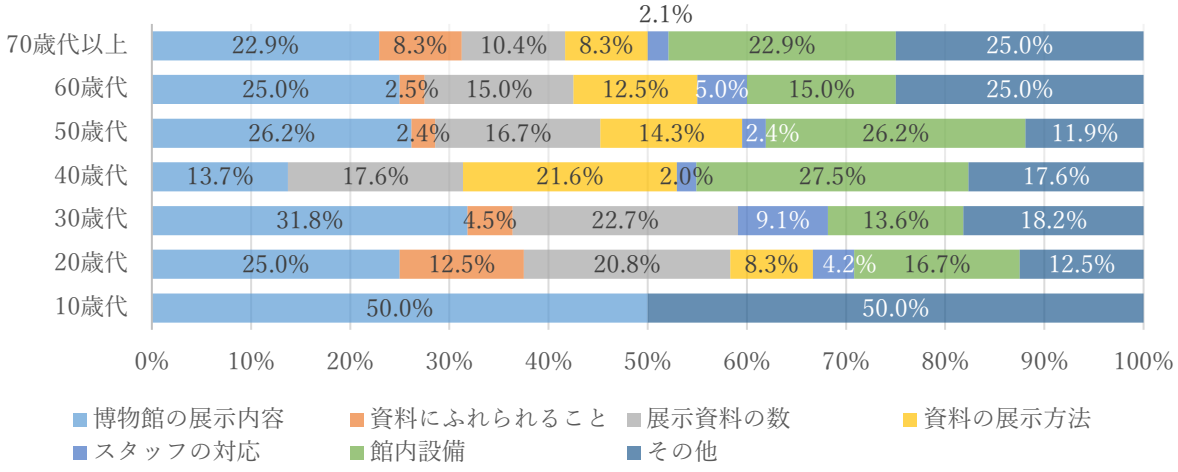
グラフ22　博物館の良かった点《来館履歴別・小学生》



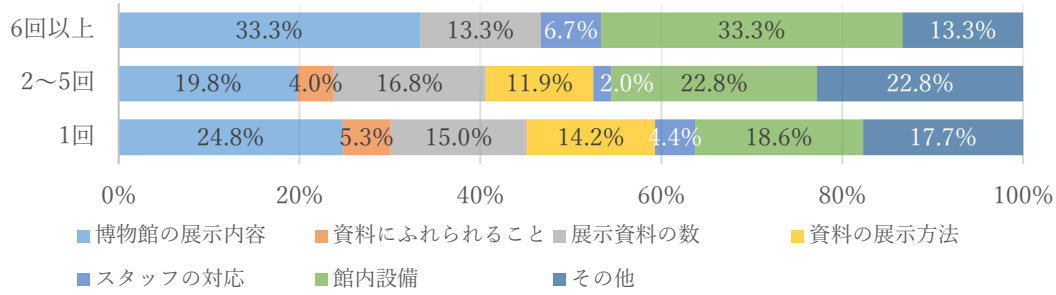
グラフ23　博物館の良かった点《来館履歴別・中学生》



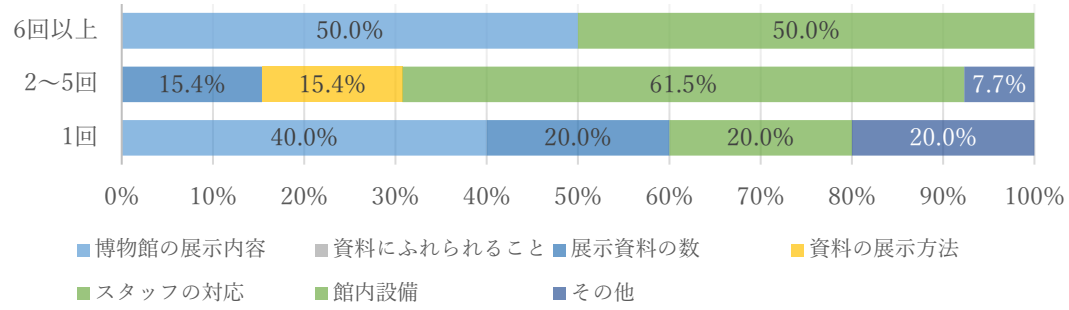
グラフ24　博物館の改善すべき点《年齢別》



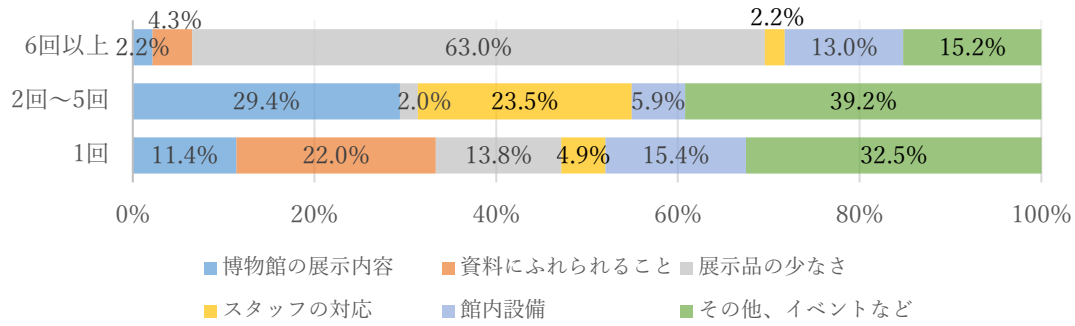
グラフ25　博物館の改善すべき点《来館履歴別・一般市民》



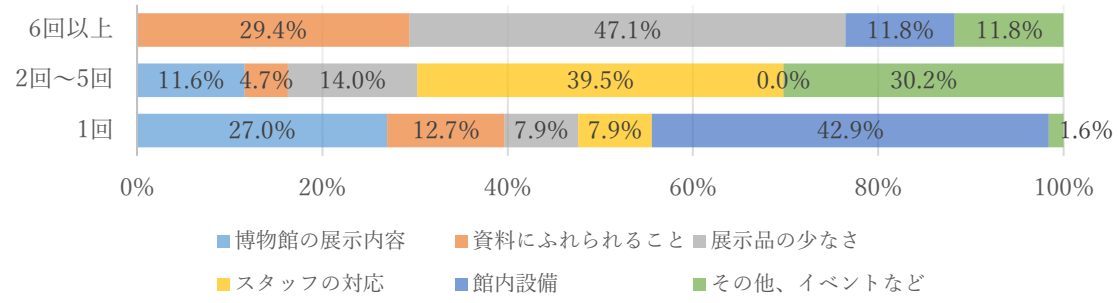
グラフ26　博物館の改善すべき点《来館履歴別・教員》



グラフ27　博物館の改善すべき」点《来館履歴別・中学生》



グラフ28　博物館の改善すべき点《来館履歴別・小学生》



4 博物館の展示について

「どのような展示があるとよいか」との問いには、一般市民は「吹田市に関する文化財や資料の展示」が最多で、小・中学生は「体験型展示」が最多でした。当館では「さわる展示」や特別企画「むかしのくらしと学校」でも体験型展示を実施していますが、より多様な体験できる展示が求められています。

また、小学生の 20.6%、中学生の 21.5%が「3D や AR 等のデジタル技術を用いた展示」があるとよいとしていて、デジタル化への対応の必要性がうかがえます。そのほか教員は「子供向けの展示」を希望する人の割合が最多（23.0%）であるため、学校が利用しやすいような展示の手法や内容を取り入れることで、将来の博物館利用者となる小・中学生の認知度を上げ、「博物館に行きたい」と思う気持ちを醸成することにつながればと思います。

どのような展示があるとよいと思いますか。（3つ選んで回答ください）

表 5《一般市民》

	全体	有名な文化財や資料の展示	吹田市に関する文化財や資料の展示	専門性が高い内容の展示	発掘調査の成果に関する展示	子ども向けの展示	3D や AR 等のデジタル技術を用いた展示	シアタールームでの映像展示	体験型の展示	その他
回答数	1921	249	**364**	121	113	261	229	203	**350**	31
構成比		13.0%	**18.9%**	6.3%	5.9%	13.6%	11.9%	10.6%	**18.2%**	1.6%

表 6《小学生》

	全体	有名な文化財や資料の展示	吹田市に関する文化財や資料の展示	発掘調査の成果に関する展示	3D や AR 等のデジタル技術を用いた展示	シアタールームでの映像展示	体験型の展示	その他
回答数	1032	137	135	87	**213**	156	**282**	22
構成比		13.3%	13.1%	8.4%	**20.6%**	15.1%	**27.3%**	2.1%

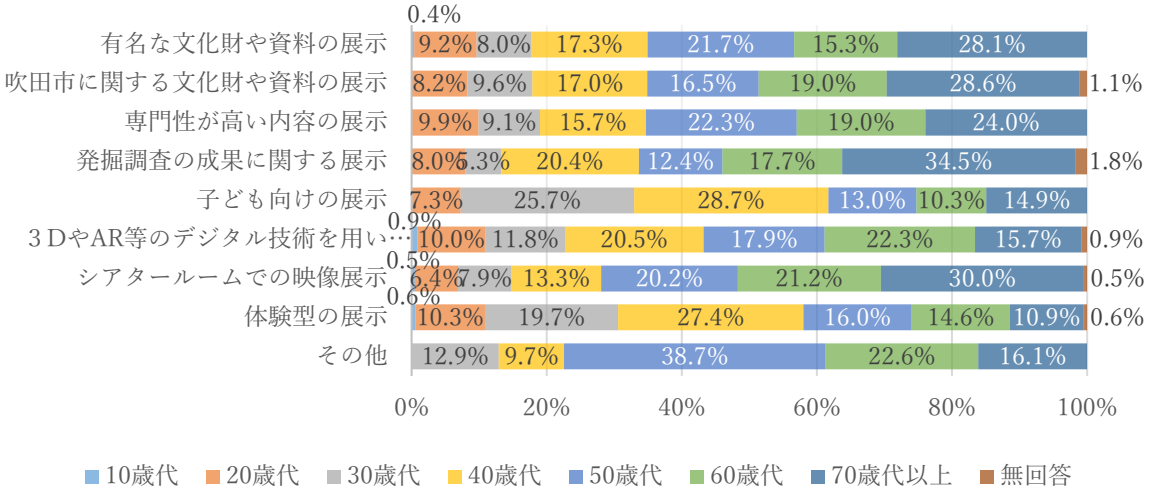
表 7《中学生》

	全体	有名な文化財や資料の展示	吹田市に関する文化財や資料の展示	発掘調査の成果に関する展示	3D や AR 等のデジタル技術を用いた展示	シアタールームでの映像展示	体験型の展示	その他
回答数	1453	239	174	109	**313**	193	**399**	26
構成比		16.4%	12.0%	7.5%	**21.5%**	13.3%	**27.5%**	1.8%

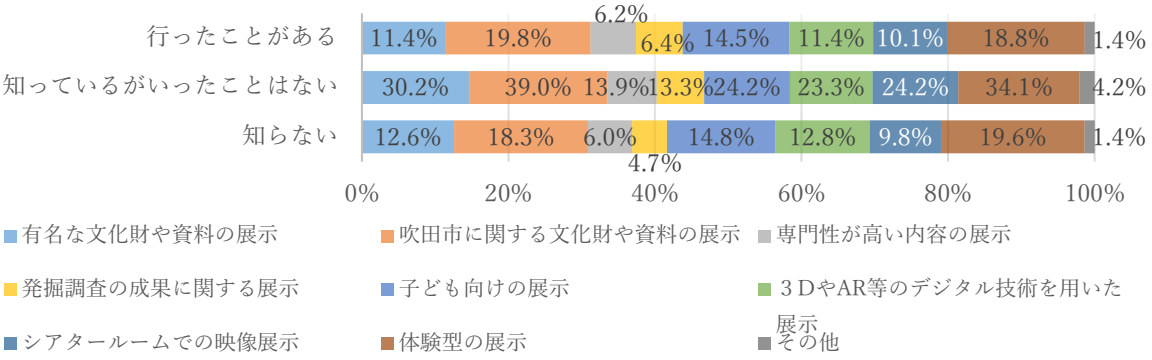
表 8《教員》

	全体	有名な文化財や資料の展示	吹田市に関する文化財や資料の展示	専門性が高い内容の展示	発掘調査の成果に関する展示	子ども向けの展示	3D や AR 等のデジタル技術を用いた展示	シアタールームでの映像展示	体験型の展示	その他
回答数	100	11	15	2	5	**23**	13	11	**18**	2
構成比		11.0%	15.0%	2.0%	5.0%	**23.0%**	13.0%	11.0%	**18.0%**	2.0%

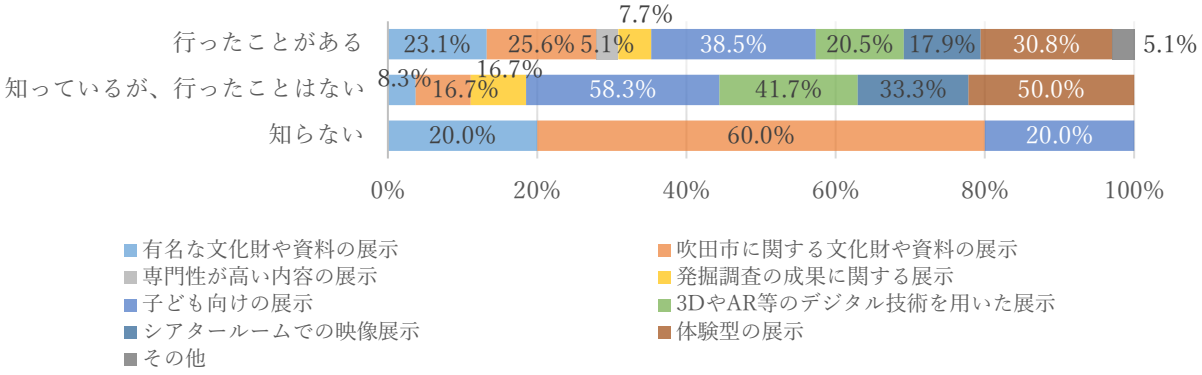
グラフ29　あると良い展示《年齢比》



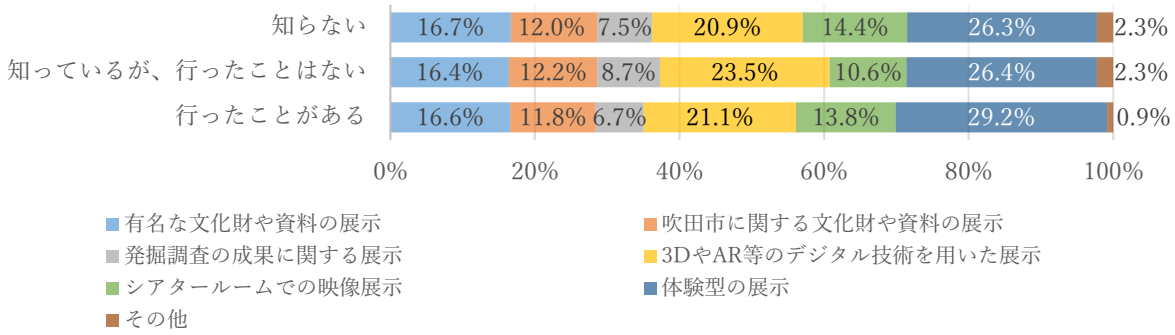
グラフ30　あると良い展示《認知度別・一般市民》



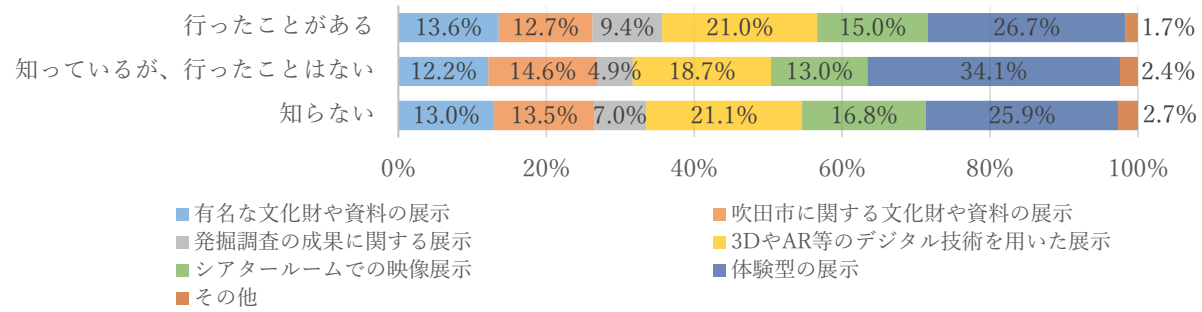
グラフ31　あると良い展示《認知度別・教員》



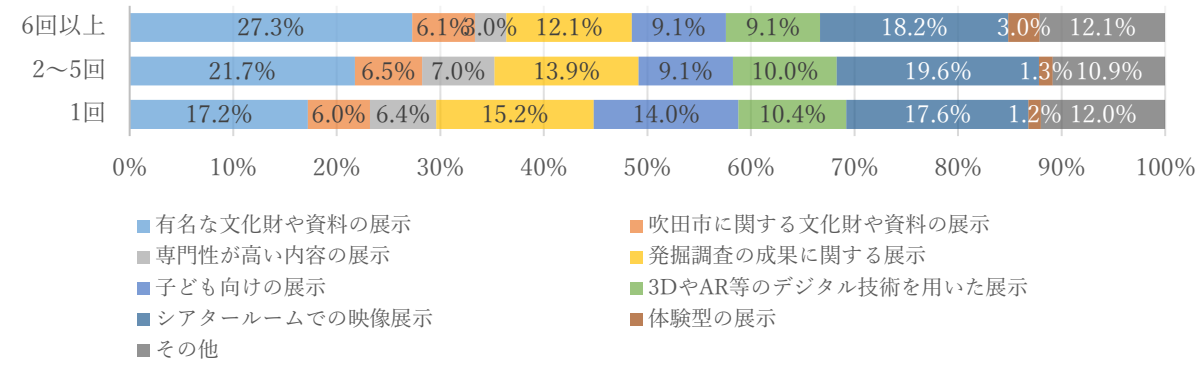
グラフ32　あると良い展示《認知度別・中学生》



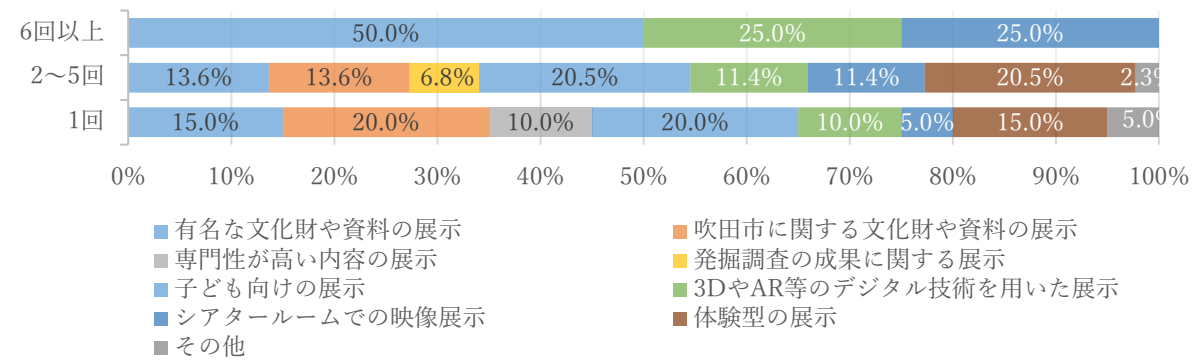
グラフ33　あると良い展示《認知度別・小学生》



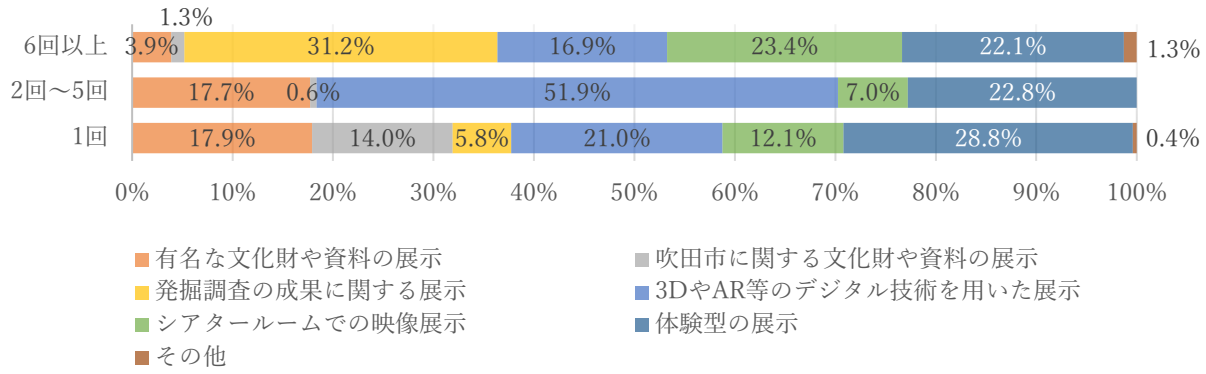
グラフ34　あると良い展示《来館履歴別・一般市民》



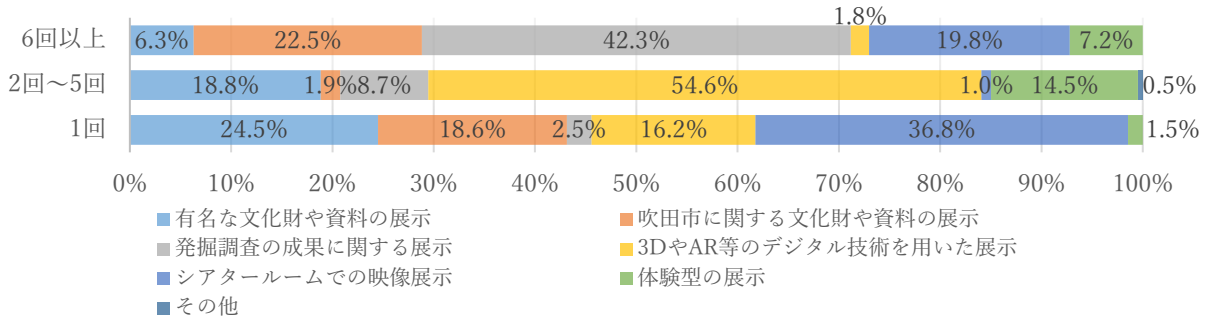
グラフ35　あると良い展示《来館履歴別・教員》



グラフ36　あると良い展示《来館履歴別・中学生》



グラフ37　あると良い展示《来館履歴別・小学生》



5　博物館の設備について

展示以外の設備で最も多かったのは、「カフェ・レストランがあると良い」（一般市民　22.9%）で、小・中学生は「飲食持ち込み可能な無料休憩スペース」が多く（小学生　24.7%・中学生　28.2%）、これは一般市民でも 19.5%ありました。また、子供連れ・家族連れで楽しめる施設を望む人も多くいました。

展示以外でも気軽に訪れることができる施設が望まれる傾向がうかがえます。

博物館の展示室以外で、どのような設備があるとよいと思いますか。（３つ選んで回答してください。）

表 9 《一般市民》

	全体	持ち込み飲食可能な無料で利用できる休憩スペース	市民が体験学習や創作活動などで利用できるスペース	休日や放課後に自由に使える自習スペース	子ども連れでも楽しめる施設や設備	ミュージアムショップなどの物販機	カフェやレストラン等の飲食施設	その他
回答数	1875	**365**	311	192	**360**	191	**429**	27
構成比		**19.5%**	16.6%	10.2%	**19.2%**	10.2%	**22.9%**	1.4%

表 10 《小学生》

	全体	ゆっくりできる休憩スペース	体験学習などに利用できるスペース	市民が利用できるスペース	家族で楽しめる施設や設備	ミュージアムショップ	雰囲気の良いカフェ	その他
回答数	1183	**292**	171	81	**239**	167	**215**	18
構成比		**24.7%**	14.5%	6.8%	**20.2%**	14.1%	**18.2%**	1.5%

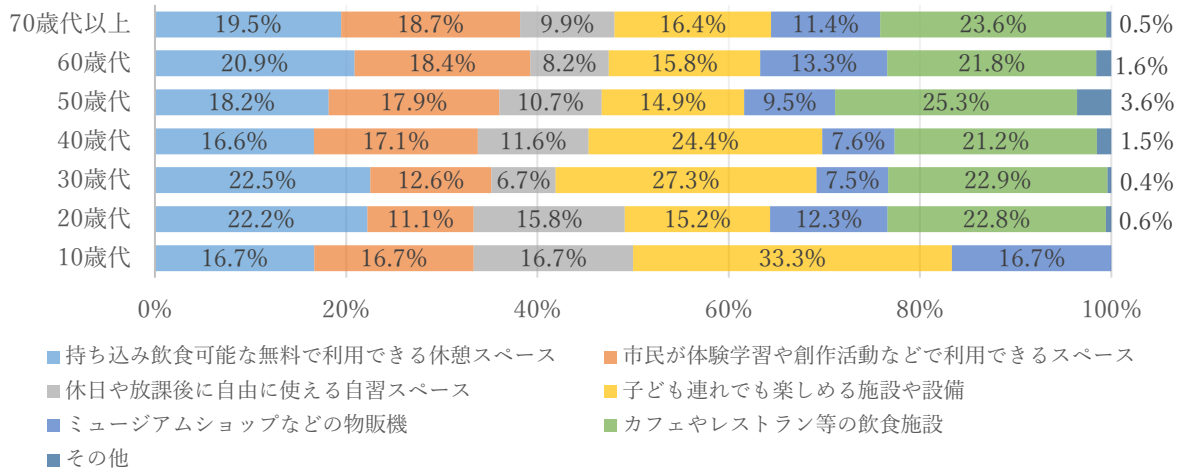
表 11《中学生》

	全体	ゆっくりできる休憩スペース	体験学習などに利用できるスペース	市民が利用できるスペース	家族で楽しめる施設や設備	ミュージアムショップ	雰囲気の良いカフェ	その他
回答数	1824	**516**	222	162	**270**	185	**438**	31
構成比		**28%**	12%	9%	**15%**	10%	**24%**	2%

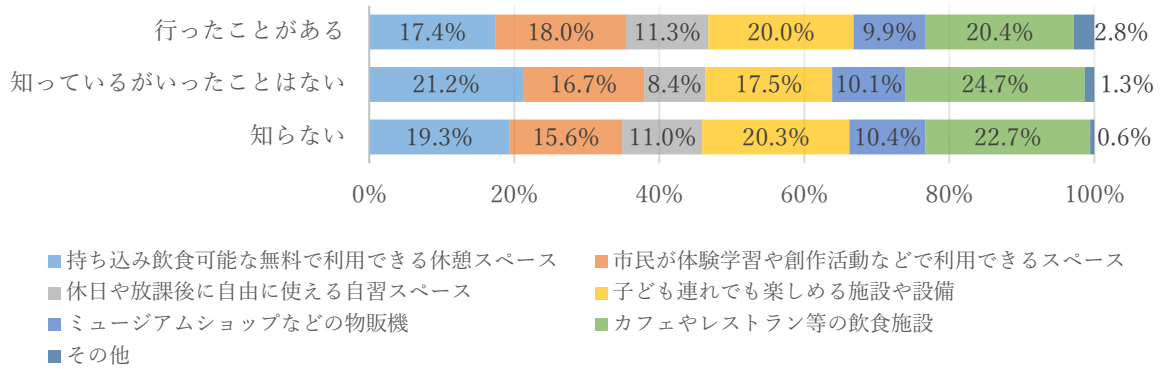
表 12《教員》

	全体	持ち込み飲食可能な無料で利用できる休憩スペース	市民が体験学習や創作活動などで利用できるスペース	休日や放課後に自由に使える自習スペース	子ども連れでも楽しめる施設や設備	ミュージアムショップなど物販機能	カフェやレストラン等の飲食施設	その他
回答数	73	11	**18**	13	**21**	5	5	0
構成比		15.1%	**24.7%**	17.8%	**28.8%**	6.8%	6.8%	0.0%

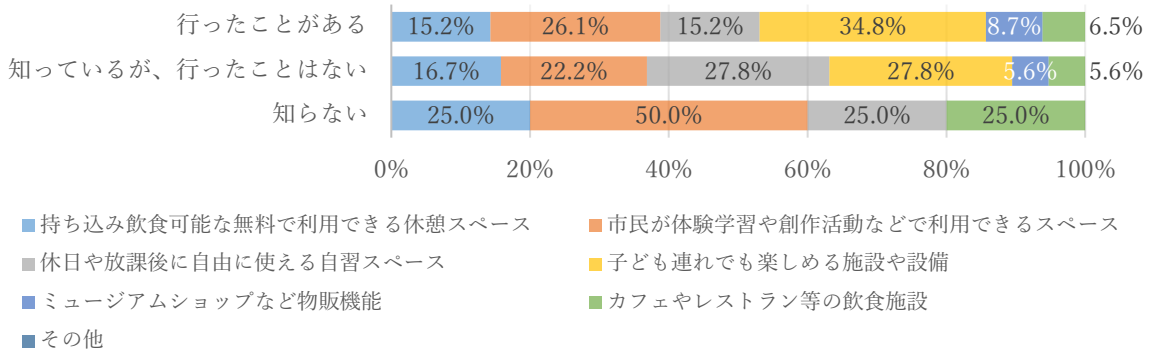
グラフ38　あると良い設備《年齢別》



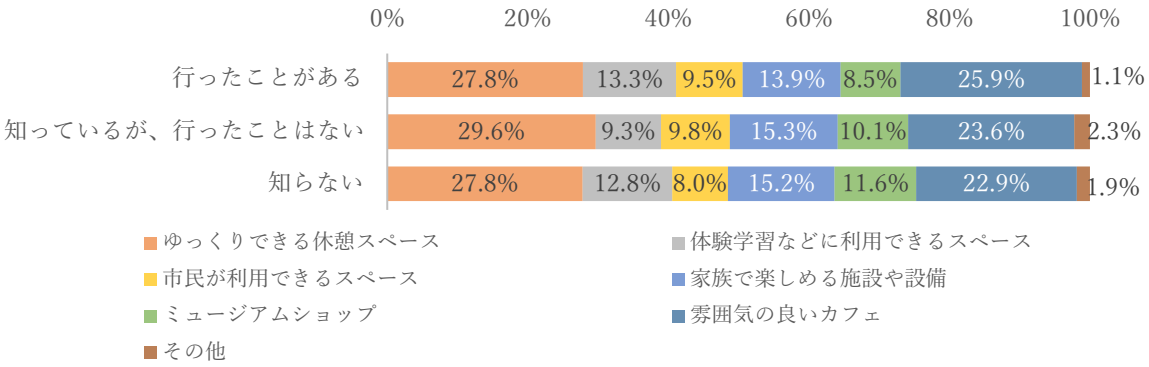
グラフ40　あると良い設備《認知度別・一般市民》



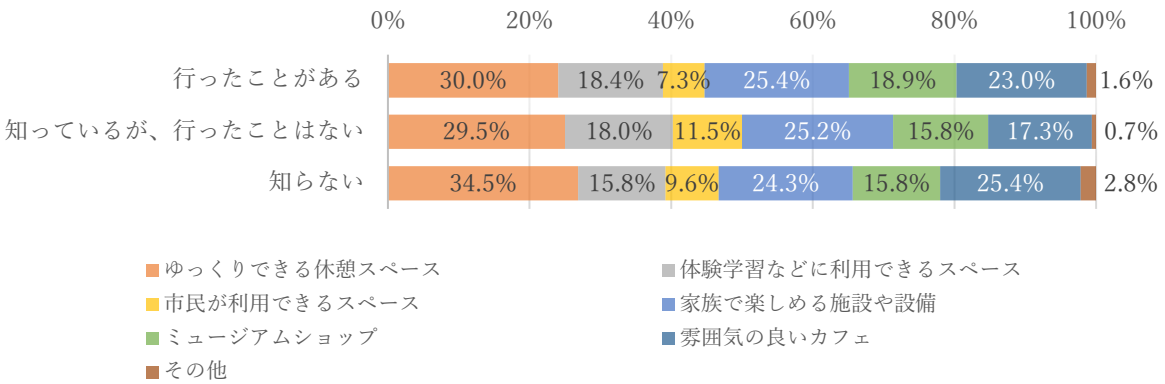
グラフ41　あると良い設備《認知度別・教員》



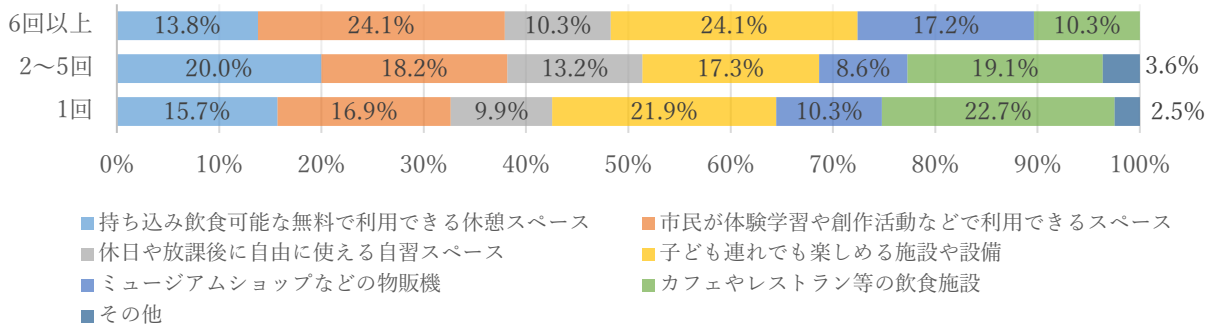
グラフ42　あると良い設備《認知度別・中学生》



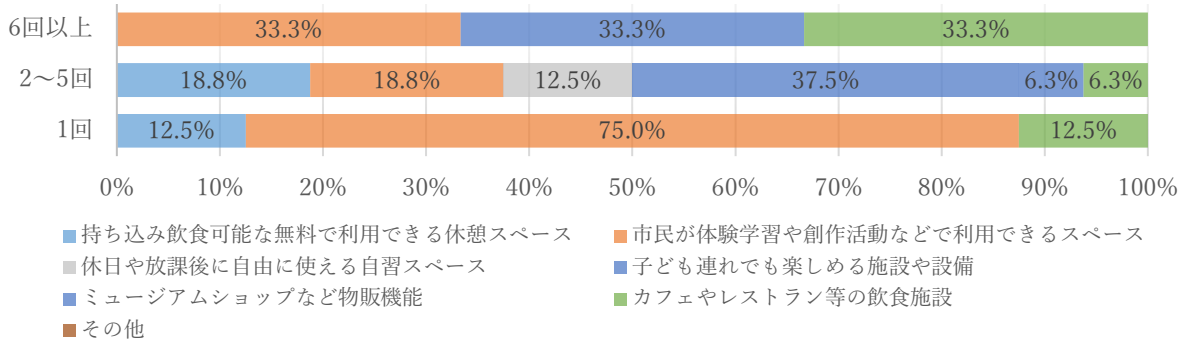
グラフ43　あると良い設備《認知度別・小学生》



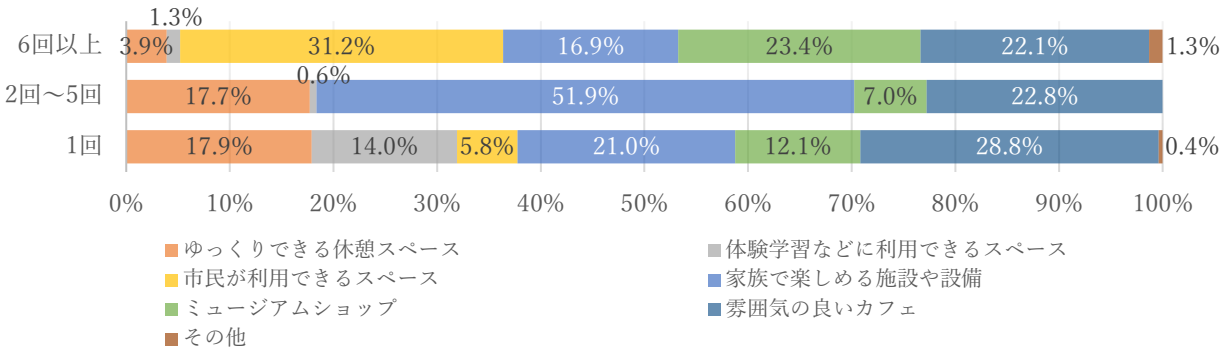
グラフ44　あると良い設備《来館履歴別・一般市民》



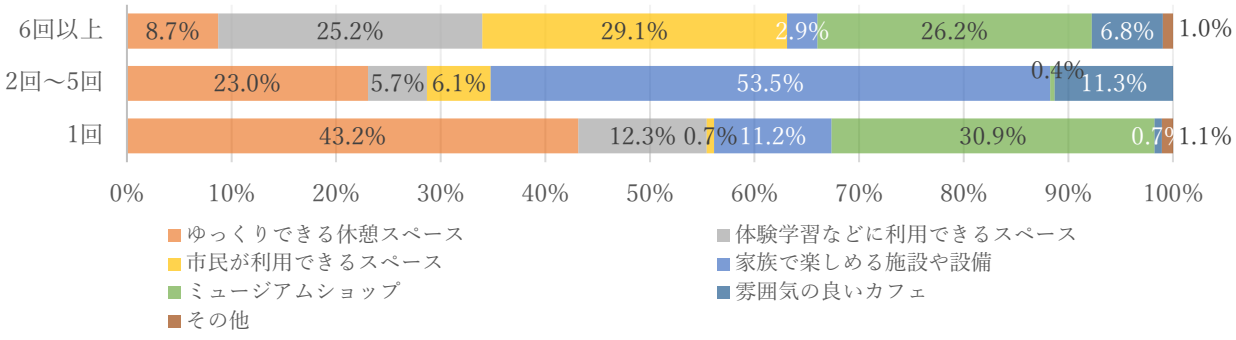
グラフ45　あると良い設備《来館履歴別・教員》



グラフ46　あると良い設備《来館履歴別・中学生》



グラフ47　あると良い設備《来館履歴別・小学生》



6 博物館の活動について

「博物館の活動について、どのような活動に力を入れるべきだと思いますか。」(一般市民と教員に質問)との設問に対して最も多かったのは、「吹田市ゆかりの文化財や歴史資料の収集や調査、研究、展示」で21.4%、次いで「ホームページやSNSなどを活用した情報発信」(20.7%)、「子ども向けのイベントの充実」(19.2%)という結果でした。

吹田市の文化財の収集保管・調査・展示という博物館の本来的な役割は市民にも一定の理解はされていますが、ここでも、「行きたくなる博物館」として子供が楽しめる要素求める割合が多いことが挙げられます。「その他」では、「他の学術機関や博物館との連携、協業」、「専門性の高さ、特殊性。他の博物館との差別化」という意見もありました。

博物館の活動について、どのような活動に力を入れるべきだと思いますか。(3つ選んで回答してください。)

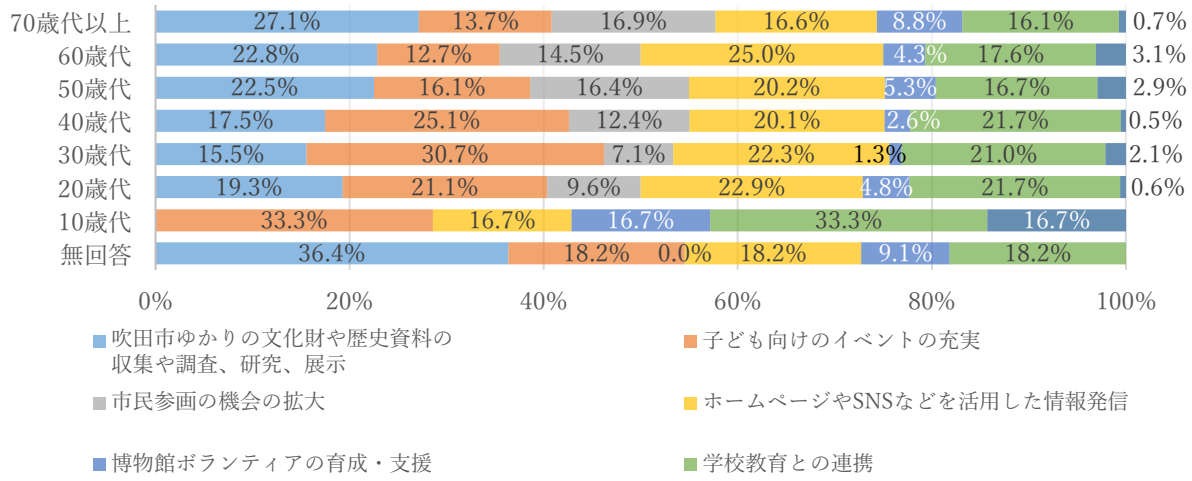
表13 《一般市民》

	全体	吹田市ゆかりの文化財や歴史資料の収集や調査、研究、展示	子ども向けのイベントの充実	市民参画の機会の拡大	ホームページやSNSなどを活用した情報発信	博物館ボランティアの育成・支援	学校教育との連携	その他
回答数	1874	**401**	**359**	252	**388**	91	352	31
構成比		**21.4%**	**19.2%**	13.4%	**20.7%**	4.9%	18.8%	1.7%

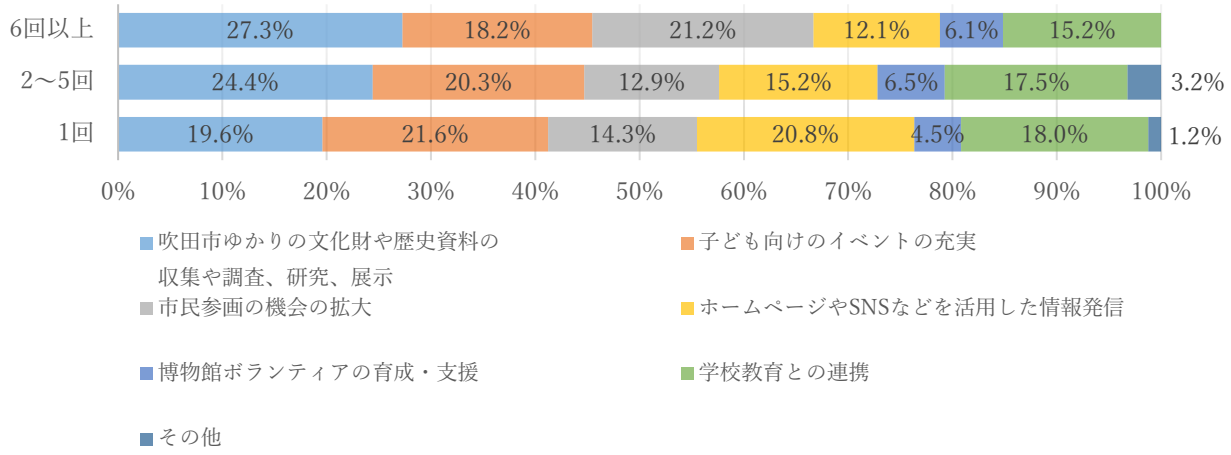
表14 《教員》

	全体	吹田市ゆかりの文化財や歴史資料の収集、調査、研究、展示	子ども向けのイベントの充実	市民参画の機会の拡充	ホームページやSNS等を活用した情報発信	博物館ボランティアの育成・支援	学校教育との連係	その他
回答数	74	14	**22**	6	10	4	**18**	0
構成比		18.9%	**29.7%**	8.1%	13.5%	5.4%	**24.3%**	0.0%

グラフ48 力を入れるべき活動《年齢別》



グラフ49　力を入れるべき活動《来館履歴別・一般市民》



7　アンケート調査の結果のまとめについて－市民の求める博物館像－

今回のアンケート結果では、博物館には展示やイベントで吹田市に関する歴史や文化財を「体験」しながら子供・家族を含む幅広い年齢層が気軽に楽しめる施設であることが求められています。また、アクセスの悪さを挙げる方が多くありましたが、「ゆったりとくつろげるスペース」、「気軽に利用できる施設」であれば行きたいと思う人も多くありました。そうした空間の創出が今後の方向性の一つと考えます。

博物館利用者を増加させるためには、「博物館を知らない」とした人に対しては、まずは博物館を知ってもらうことが第一であり、「知っているが行ったことはない」の博物館に行かない理由に、一般市民・中学生・小学生・教員とも「具体的に何があるのかわからない」とした人が多くあったように、情報発信不足があったことから、博物館の存在、活動内容について、SNS など今の時代に合った発信方法の充実が必要と考えます。30 歳代・40 歳代では「子連れで楽しめない」と感じている人が 60%を占めており、これらの年齢層は「力を入れるべき活動」として「子供向けのイベントの充実」を求める割合も大きく、展示やイベントにおいて子供をターゲットとした企画や工夫を行い、それを発信することが求められています。

また、リピーターを増やすことも利用者増にとって一つの柱と考えます。来館履歴のある人の来館目的を見ると「常設展示」が最も多く、50 歳代の 35.9%、10 歳代の 33.3%のほかは、40～50%となっていることから、常設展示を飽きない展示へと改善を図ることがリピート率の向上につながると考えられます。すなわち、体験型展示の充実や柔軟な展示替え等による、更なる常設展示の充実が求められ、小・中学生があると良いとした「3D や AR 等のデジタル技術を用いた展示」の導入やロビーのスペースの活用も含めた常設展示のリニューアルを行うことで、リピーターの獲得を目指したいと思います。

さらに、小中学生が博物館を訪れた目的は「学校行事・社会見学」が最も多く、学校教育を通じて子供たちの認知率が上がっていることが分かります。一方で、教員の中には博物館を知らないとした人が 9.4%いたことも分かりました。教員に博物館の存在や活動を知ってもらうことが子供たちの博物館利用に結びつくことから、学校が利用しやすい展示や教育プログラムの開発とともに教員への周知が必要になってきます。

今後の博物館運営につきましては、「子供」と「体験」をキーワードに事業展開としていくべきと考えます。子供とその保護者世代が求める展示やイベントを充実やデジタル化を含めた設備更新により、市民が求める博物館と改善を図ります。

令和８年度（2026 年度）春季特別展

１．名　称　　令和８年度（2026 年度）春季特別展
「早田家文書展－江戸時代の吹田村が見えてくる－」

２．会　期　　令和８年４月２５日（土）～５月３１日（日）（予定）
休館日　月曜日と祝日の翌日。
ただし、５月４日（月・祝）～６日（水・祝）は開館

３．会　場　　吹田市立博物館　３階　特別展示室・ロビー

４．展示主旨

江戸時代に吹田村旗本竹中領の庄屋を務めた早田家には、江戸時代前期からの多くの古文書が残されています。これらは旧吹田村に関する貴重な史料群です。

早田家家伝によると、早田家は吹田氏の与力として加勢し、吹田氏滅亡後、武士をやめ、農業に従事したと伝えられています。江戸時代には吹田村で酒造業や過書舟による運送業などで成長し、天明８年（1788）ごろから吹田村竹中領の庄屋を務めました。

早田家に伝わる、村政に関わる定書や検地帳、酒造、過書舟等産業に関わる文書、家政に関わる文書などは、陸上水上交通の要として一部町場的性格も有する吹田村を考える上で貴重な資料です。吹田村は、農村でありながら、過書舟の運航や吹田の渡しで交通の要衝であったため町場的な性質も持っていました。早田家の家業はそうした吹田村の性質を体現しているといえるでしょう。早田家の商業活動や庄屋としての役務等を古文書や絵画資料・民俗資料で紹介します。

５．展示資料

竹中重職定書、吹田村検地帳写、万之算用覚、吹田村絵図、三方会所鍵、川絵図、
過書舟株名代付替証文、過書舟鑑札、酒造の桶、稲荷小祠の灯籠・提灯・旗、絵画（掛幅）等

６．関連イベント（予定）

開会式、講演会３回、歴史講座１回、ギャラリートーク１回、展示解説２回、
史跡見学（すいた歴史散歩）１回、クイズラリー６回

７．予算

６３万円（前年度事業費として令和７年度予算１２４万円）

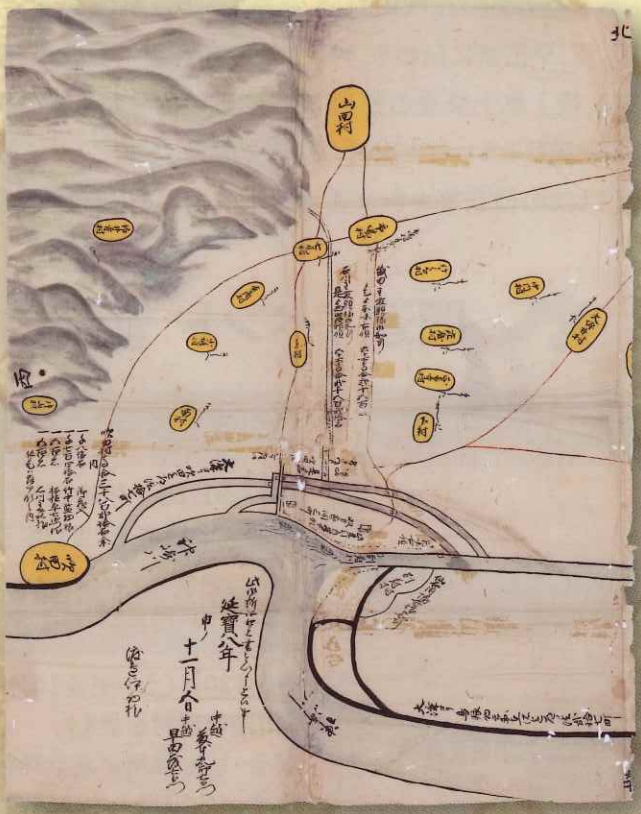
吹田市立博物館　令和8年度（2026年度）春季特別展

早田家文書展

－江戸時代の吹田村が見えてくる－



過書舟鑑札（当館蔵）



神崎川筋絵図
（個人蔵 当館寄託）



稲荷燈籠（当館蔵）

令和8年（2026年）4月25日（土）～5月31日（日）

無料観覧日：4月25日（土）、5月16日（土）、5月17日（日）

【開館時間】 午前9時30分～午後5時15分
【休 館 日】 月曜日と祝日の翌日。但し、5月4日（月・祝）～6日（水・祝）は開館
【観 覧 料】 大人 200円 高校・大学生 100円 小中学生 50円

＊市内在住の65歳以上の方は100円。
＊市内在住で障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
＊毎週土曜日は小中学生は無料。
（土曜日以外も「ぐるっとすいたカード」をもってくると無料）

吹田市立博物館
SUITA CITY MUSEUM
〒564-0001 大阪府吹田市岸部北4-10-1
TEL.06-6338-5500／FAX.06-6338-9886
＊電話のおかけ間違いにご注意下さい。
https://www.city.suita.osaka.jp/museum/

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
この印刷物は、環境にやさしい紙とインキを使用しています。

交通案内

●JR 岸辺駅下車北口から徒歩 20 分 ●JR 吹田駅北口・阪急吹田駅から 千里中央ゆきバス 4 系統「紫金山公園前」下車徒歩 5 分五月が丘南ゆきバス（循環）「五月が丘西」下車徒歩 7 分桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩 10 分 ●阪急南千里駅から「JR 吹田」ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩 10 分。●北大阪急行千里中央駅・阪急山田駅から　JR 吹田ゆきバス 4 系統「紫金山公園前」下車徒歩 5 分 JR 吹田ゆきバス 12 系統「岸部」下車徒歩 10 分●お車の場合は、五月が丘方面からお回りください。（吉志部神社側からは車は進入できません。）



吹田市立博物館 令和8年度(2026年度)春季特別展

早田家(そうた)文書展 ―江戸時代の吹田村が見えてくる―

江戸時代に吹田村旗本竹中領の庄屋を務めた早田家には、江戸時代前期からの多くの古文書が残されています。これらは旧吹田村に関する貴重な史料群です。

早田家家伝によると、戦国時代早田家は吹田氏の与力として加勢し、天正7年(1579)に吹田氏が滅亡した後、武士をやめ、農業に従事したと伝えられています。江戸時代には吹田村で酒造業や過書舟による運送業などで成長し、天明8年(1788)ごろから吹田村竹中領の庄屋を務めました。吹田村は、農村でありながら、過書舟の運航や吹田の渡しがあったため交通の要衝でした。早田家に伝わる、村政に関わる定書や検地帳、酒造、過書舟等産業に関する文書、家政文書などは、陸上水上交通の要として一部町場的性格も有する吹田村を考える上で貴重な史料群です。早田家の家業はそうした吹田村の性質を体現しているといえるでしょう。

早田家の暮らしや商業活動、庄屋としての役務等を古文書や絵画資料・民俗資料で紹介します。

【すいはくQR】

関連イベント

■開会式・展示解説
※無料観覧日
会場／3階ロビーおよび特別展示室

●4月25日(土)午後1時～2時

■講演会
会場／2階講座室　定員／先着120名
申込不要　参加費／無料

●4月25日(土) 午後2時30分～4時
「江戸時代 吹田市域の支配とお触れ」
講師／村田路人氏(大阪大学名誉教授・神戸女子大学名誉教授)

●5月16日(土) 午後2時～3時30分
「旗本領主竹中氏と知行所村落」
講師／安永寛氏(京都大学非常勤講師)

●5月23日(土) 午後2時～3時30分
「近世・近代吹田村の稲荷信仰」
講師／藤井裕之氏(元当館副館長)

■歴史講座
会場／2階講座室　定員／先着120名
申込不要　参加費／無料

●5月3日(日) 午後2時～3時30分
「早田家文書を読み解く」
講師／池田直子(当館学芸員)

■ギャラリートーク
会場／3階特別展示室　申込不要
※無料観覧日

●5月17日(日) 午後2時～3時
講師／中牧弘允(当館特別館長)

■展示解説
会場／3階特別展示室　要観覧料

●5月9日(土) 午後2時～3時
解説／池田直子(当館学芸員)・河島明子(当館学芸員)

■すいた歴史散歩
要申込

●5月30日(土) 午後1時～4時
「川港吹田村を歩く」
集合・解散場所／高浜神社
案内／吹田郷土史研究会員・当館学芸員
定員／30名(多数抽選)
参加費／無料
申込締切／4月28日(火)必着

■クイズラリー
会場／3階特別展示室　要観覧料

●4月26日(日)、5月3日(日)、5月10日(日)、5月17日(日)
5月24日(日)、5月31日(日)
※5月17日は無料観覧日
いずれも午後1時～3時30分

すいた歴史散歩の申し込み方法
はがきかファックスにイベント名・日時・参加者全員の郵便番号・住所・名前(ふりがな)・電話番号を書いて博物館へ。吹田市役所ホームページの電子申込システム(4月1日～)からも応募できます。

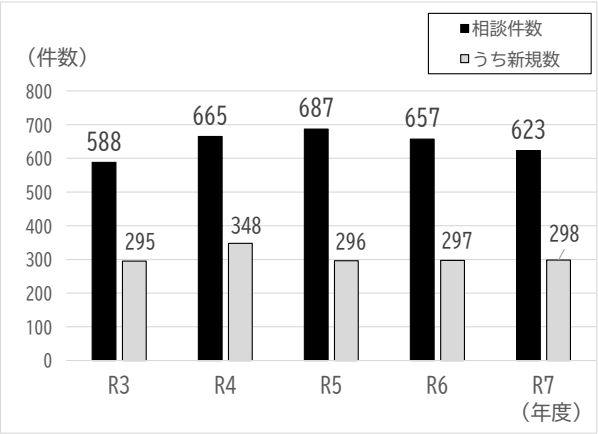
【電子申込QR】

吹田市立博物館
SUITA CITY MUSEUM
〒564-0001 大阪府吹田市岸部北4-10-1
TEL 06-6338-5500 FAX 06-6338-9886
*電話のおかけ間違いにご注意下さい。
https://www.city.suita.osaka. jp/museum/
このチラシは12,000部作成し、1部あたりの単価は8円です。

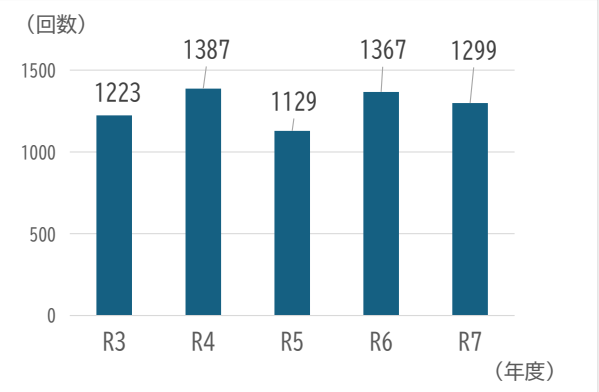
青少年相談の状況について
（令和３年度から令和７年度までの相談件数等）

年度			ひきこもり	不登校	いじめ	性格・対人関係	発達障害	精神疾患	就労・進路	問題行動・非行	子育て	家族関係	虐待	その他	合計
令和３年度		件数	98	115	1	38	37	40	92	28	55	24	4	56	588
		割合	16.7%	19.6%	0.2%	6.5%	6.3%	6.8%	15.6%	4.8%	9.4%	4.1%	0.7%	9.5%	100.0%
	新規	件数	34	69	1	21	13	21	26	21	40	12	3	34	295
	新規	割合	11.5%	23.4%	0.3%	7.1%	4.4%	7.1%	8.8%	7.1%	13.6%	4.1%	1.0%	11.5%	100.0%
令和４年度		件数	100	152	6	54	39	42	110	28	70	25	6	33	665
		割合	15.0%	22.9%	0.9%	8.1%	5.9%	6.3%	16.5%	4.2%	10.5%	3.8%	0.9%	5.0%	100.0%
	新規	件数	31	81	5	33	16	25	37	15	64	12	5	24	348
	新規	割合	8.9%	23.3%	1.4%	9.5%	4.6%	7.2%	10.6%	4.3%	18.4%	3.4%	1.4%	6.9%	100.0%
令和５年度		件数	108	142	2	65	45	45	108	42	68	32	2	28	687
		割合	15.7%	20.7%	0.3%	9.5%	6.6%	6.6%	15.7%	6.1%	9.9%	4.7%	0.3%	4.1%	100.0%
	新規	件数	20	59	0	34	21	21	30	27	49	16	0	19	296
	新規	割合	6.8%	19.9%	0.0%	11.5%	7.1%	7.1%	10.1%	9.1%	16.6%	5.4%	0.0%	6.4%	100.0%
令和６年度		件数	102	111	3	84	55	53	103	30	54	35	1	26	657
		割合	15.5%	16.9%	0.5%	12.8%	8.4%	8.1%	15.7%	4.6%	8.2%	5.3%	0.2%	4.0%	100.0%
	新規	件数	19	50	3	45	25	31	32	17	37	15	1	22	297
	新規	割合	6.4%	16.8%	1.0%	15.2%	8.4%	10.4%	10.8%	5.7%	12.5%	5.1%	0.3%	7.4%	100.0%
令和７年度		件数	98	89	4	62	64	47	93	39	76	28	3	20	623
		割合	15.7%	14.3%	0.6%	10.0%	10.3%	7.5%	14.9%	6.3%	12.2%	4.5%	0.5%	3.2%	100.0%
	新規	件数	19	50	3	45	25	31	32	17	37	15	1	23	298
	新規	割合	6.4%	16.8%	1.0%	15.1%	8.4%	10.4%	10.7%	5.7%	12.4%	5.0%	0.3%	7.7%	100.0%

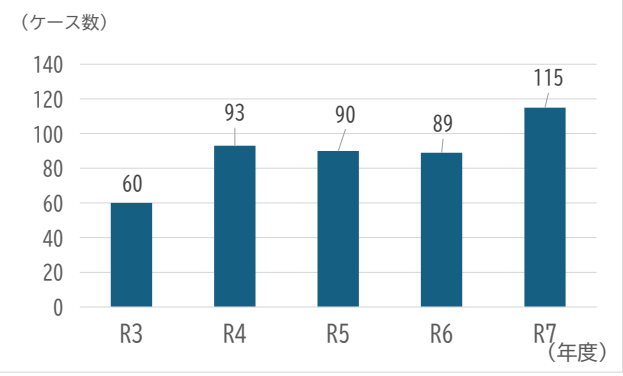
１　相談件数・新規相談件数



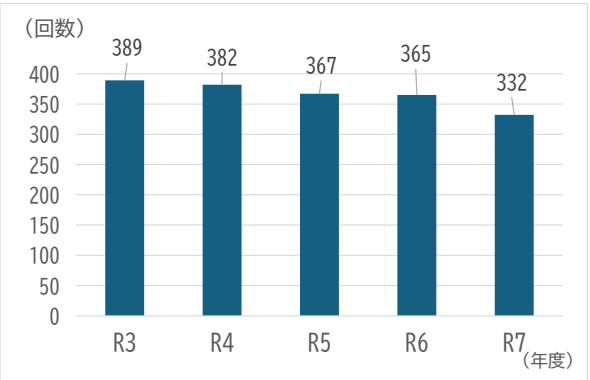
２　他機関協議の件数



３　社会参画の件数



４　アウトリーチ（訪問支援）の件数



（仮称）放課後児童クラブ入室希望児童数増加への対応検討プラン（案）

～留守家庭児童育成室の持続可能な運営のために～

地域教育部放課後子ども育成室

初版：令和８年(2026年）５月29日

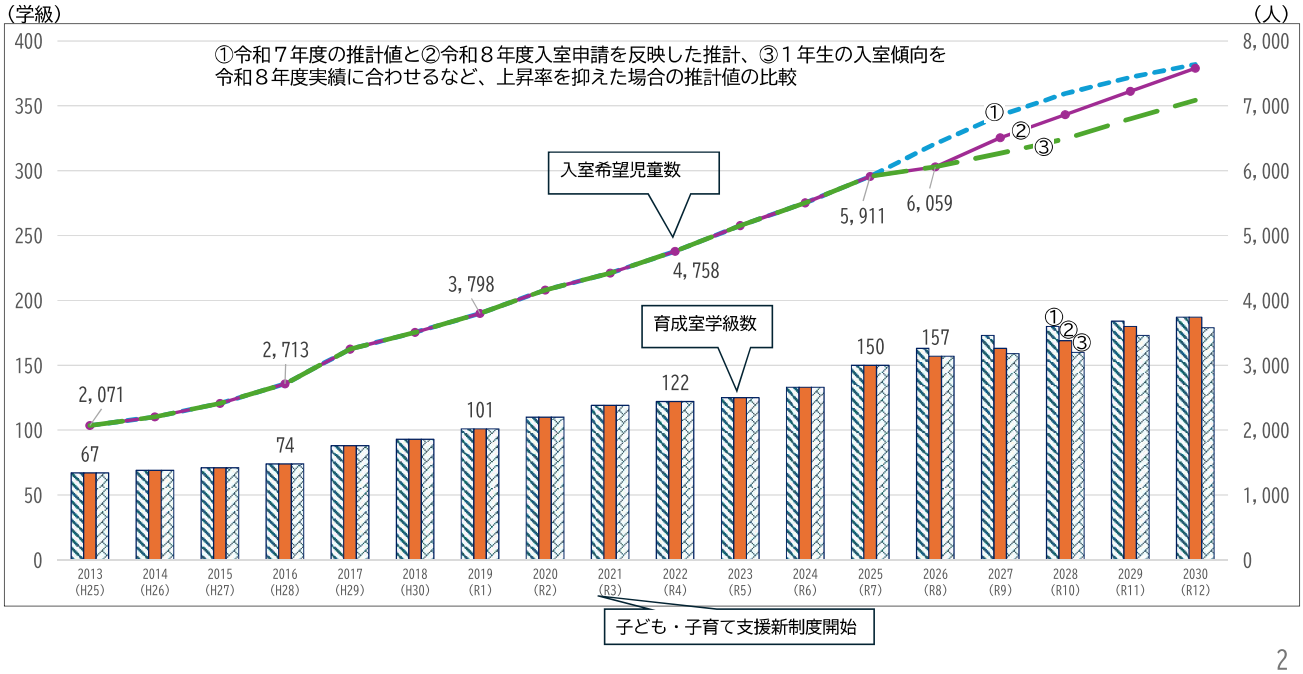
はじめに

本市の放課後児童健全育成事業（留守家庭児童育成室）は、平成25年度（2013年度）以降、入室希望児童数が10年間で2.5倍に増加し、令和７年度（2025年度）の児童推計において令和10年度（2028年度）には入室希望児童数が7,000人を超える予測となっており、令和７年度（2025年度）の6,000人弱から更に1,000人以上の増加を見込んでいます。（令和８年度の申請数は下振れ）

また、一方で、小学校では空き教室が無いなどにより育成室を確保することが難しくなっている上、人員不足の中で指導員等の確保も困難な状況となっていることからも、これまでどおりの対策では限界となっています。

このため、今後も放課後児童健全育成事業を持続可能な事業として進めていくためには、様々な新たな対策を複合的に実施していく必要があることから、まずは５か年を目途とした対応検討のプランを整理し、これにより毎年実施計画を策定して進めていくものです。

入室希望児童数と育成室学級数の推移と推計（令和７年度時点）



2

留守家庭児童育成室を取り巻く状況

平成25年度（2013年度）と令和７年度（2025年度）の各状況比較

項目	平成25年度（2013年度）	令和７年度（2025年度）	差
育成室児童数（うち要配慮児童数）	2,071人（101人）	5,909人（299人）	3,838人増（198人増）
必要職員数※（うち要配慮児加配人数）	184人（59人）	528人（228人）	344人増（169人増）
育成室学級数	67学級	150学級	83学級増
学校の学級数	619学級	660学級	41学級増
支援学級数	149学級	291学級	142学級増

※必要職員数は１教室当たり２名の職員と要配慮児への加配職員の合計数

共働き世帯数の割合（国勢調査の吹田市の結果）

平成27年度（2015年度）55.3% → **令和２年度（2020年度）61.9%　（6.6ポイント増）**

小学校４年生までの継続率（平成29年度から小学校４年生まで受入れ拡大）

令和元年度（2019年度）63.9% → **令和７年度（2025年度）80.5%　（16.6ポイント増）**

3

留守家庭児童育成室を取り巻く状況

これまでの入室希望児童数増加への対策



入室希望児童数の増加に合わせて、小学校の敷地内で教室（専用・時間借り）の開室や運動場等にプレハブの設置を進めてきました。



入室希望児童数の増加に伴って指導員の確保を進めており、採用活動の強化に加えて、直営育成室の民間委託を行い、指導員の欠員解消を進めてきました。

令和７年度（2025年度）において、15育成室が直営、20育成室が委託で実施しています。

しかし、いろいろな課題が発生しています！

4

留守家庭児童育成室を取り巻く状況

育成室確保の課題

小学校では、35人学級の導入や支援学級数の増加等により必要教室数が増加し、育成室として利用できる教室確保が年々難しくなっています。
また、運動場が狭くなる、体育の授業や運動会等の運営がしにくくなるという理由により、プレハブの設置も厳しくなっています。



指導員等の人材確保の課題

保育ニーズの増大等により、指導員等の必要人数が平成25年度の約３倍に増加し、委託事業者を含め、年々人材確保が厳しくなっています。
また、令和８年度から中学校での35人学級の導入や就学前児童の誰でも通園制度開始などにより、更に採用が厳しくなることが予見されます。



これらの課題を解決していくためには、様々な方策の検討が必要！

5

今後の方策に係る本市の基本的な考え方

入室希望児童が増加する中、未入室（待機）児童を生じさせないように努めながら、今後も持続可能な事業として運営することが求められています。

しかし、これまでの方策では受入枠の確保が難しくなっており、速やかに実現可能な対応を進める必要があります。

このため、中・長期的な視点から、運営に要する費用についても勘案しながら、様々なアイデアを検証し、効果的・効率的な方策を策定します。

この考え方を基本に、様々なアイデアから検討プランを策定します。

入室希望児童数増加への対応プランの検討

1　全体の入室希望児童に対する方策

〇育成室指導員の確保・定着
〇入室申請基準の見直し
〇入室要件の新設
〇教室利用の在り方の見直し
〇長期休業期間中のみの受入れの実施

2　増加する地域に特化した方策

〇幼稚園等を活用した民設放課後児童クラブの実施
〇大規模開発に伴う学校校舎増築に合わせた育成室の確保
〇出席率による定員弾力運用の見直し
〇マンション開発における民設放課後児童クラブ等の協力要請
〇空きのある育成室での受入れの実施
〇民設放課後児童クラブ（運営補助金なし）の利用料補助の実施

3　放課後児童健全育成事業に代わる方策

〇太陽の広場、児童館等の活用の積極的な呼び掛け
〇放課後キッズスクエアでの受入れの再開
〇マンション開発における民設放課後児童クラブ等の協力要請（再掲）

※これらの方策については、検討事項であり、必ず実施するものではありません。

入室希望児童数増加への対応プランの検討

本市の放課後児童健全育成事業の構成

留守家庭児童育成室（市直営・委託）

民設放課後児童クラブ（運営補助金あり）

民設放課後児童クラブ（運営補助金なし）

太陽の広場（放課後子供教室）

児童館・児童センター

図書館

ファミリーサポート・センター

放課後の児童の居場所

※これらの方策については、検討事項であり、必ず実施するものではありません。

8

対応プラン検討内容の詳細

1　全体の入室希望児童に対する方策

○育成室指導員の確保・定着

教員や保育士をはじめとする競合する職種においても採用強化の動きが大きくなっており、育成室の指導員等の確保は年々難しくなっていますが、引き続き、職員の確保・定着に向けて取り組みます。

保育ニーズの拡大によって大規模化する育成室の運営や、最低賃金の大幅な上昇など、社会状況に応じて、次の視点を中心に検討を進めます。

①市委託育成室職員のキャリアに応じた支援の実施
（市直営育成室の職員は人事院勧告に準じた給与等の改定を実施）

②規模が拡大する育成室の運営支援

課題は、①運営費用上昇に伴う保育料の上昇
②競合する他職種との人材の取り合いとなっているため、効果は不明

9

対応プラン検討内容の詳細

1　全体の入室希望児童に対する方策

○入室申請基準の見直し（令和９年度からの実施を検討）

留守家庭児童育成室の入室希望児童数の増大は、保育を必要とする時間の基準が保育園等の基準より低くなっていることも一つの要因になっています。
このため、現在の留守家庭児童育成室の入室申請基準の見直しを検討し、より保育を必要とされる方に健全育成の場を確保しようとするものです。
なお、変更する点は次のとおりで、通勤時間を含む勤務終了時間が午後３時以降であることは変わりありません。
現行　：１月当たり月曜日から金曜日の間で12日以上あり、かつ就労時間が１日３時間以上
見直し案：１月当たり月曜日から金曜日の間で16日以上あり、かつ就労時間が１日４時間以上

課題は、激変緩和への対応

10

対応プラン検討内容の詳細

1　全体の入室希望児童に対する方策

○入室要件の新設

留守家庭児童育成室の入室申請基準は、週３日以上の就労等としていますが、実際の利用に条件は設定していません。児童の出席率は育成室によって平均70～80％となっており、留守家庭児童育成室以外のものとの併用利用が一定数あることが分かっています。
利用日数が週２日以下となる状況が継続する場合は、利用の必要性を確認し、状況に応じて利用停止とするなど、必要性の高い方を優先的に入室できる制度の構築を検討します。

課題は、利用実態の把握に時間がかかるため、調整までに一定の時間経過が必要

11

対応プラン検討内容の詳細

1　全体の入室希望児童に対する方策

○教室利用の在り方の見直し

留守家庭児童育成室では子供たちが落ち着いて過ごせるよう、畳敷きの部屋を用意し、机や椅子を置かずに、畳の上で生活できる環境を整えています。校内での専用教室が難しい状況にあり、宿題や読書、グループ活動での作業などの時は、机や椅子のある教室を活用し、全員がゆったり過ごすためのスペース確保を検討します。

課題は、教室が分かれることにより更に人員配置が必要

○長期休業期間中のみの受入れの実施

国の補助制度を活用し、放課後児童健全育成事業による長期休業期間中のみを利用する児童の受入れを進めます。実施方法としては、①長期休業期間中の空き教室を使用し、各育成室に付随して実施、②既存の空いている施設の数か所を活用して集中的に実施する方法で検討します（原則として児童自身が登・降室を行う）。

課題は、長期休業期間中のみの短期間での人員確保が困難

12

対応プラン検討内容の詳細

2　増加する地域に特化した方策

○幼稚園等を活用した民設放課後児童クラブの実施

私立幼稚園・認定こども園・保育園・私立大学等の既存施設のほか、新たに賃貸物件等を活用した民設放課後児童クラブの実施により、入室希望児童数の増加への対策を進めます。

なお、入室希望児童数の増加が見込まれ、小学校内での教室の確保が難しい地域に対して募集を行うものであり、設置予定の地域と必要定員等については以下のとおりになります。

３年間（令和８年度（2026年度）～令和10年度（2028年度））の計画予定表

地域名	必要時期	必要定員（必要教室数）	対象小学校区	備考
片山地域	令和９年（2027年）４月～	＋40人（＋１教室）	千一、片山小学校	
千里山地域	令和８年（2026年）４月～	＋30人（＋１教室）	千二、千三小学校	事業者確保済
	令和10年（2028年）４月～	＋40人（＋１教室）	千二小学校	

効果として、計110人３教室の受入枠が拡大

課題は、送迎を含めた事業者の確保が不透明

13

対応プラン検討内容の詳細

2　増加する地域に特化した方策

○大規模開発に伴う学校校舎増築に合わせた育成室の確保

大規模の住宅開発が想定される小学校区については、校舎増築の際に育成室の確保を進めます。

課題は、放課後子ども育成室のみで事業を進めることができず、学校の増築スケジュールに合わせる必要があること

○出席率による定員弾力運用の見直し

出席率が約80％であり、１教室の上限人数を45人から50人まで拡大することを検討します。

即効性があり、700人以上の受入枠が拡大

課題は、①児童の１人当たりの面積の低下
②受入枠の拡充による指導員の負担増
③国・府補助金の減額による保育料の上昇

14

対応プラン検討内容の詳細

2　増加する地域に特化した方策

○マンション開発における民設放課後児童クラブ等への協力要請

200戸以上のマンション開発（単身者・高齢者向け住宅を除く）を行う事業者に対し、民設放課後児童クラブ等が実施できるスペースの確保や事業の実施について、協力要請を進めていきます。
なお、協力範囲等の想定は以下のとおりになります。

協力範囲	実施方法	対象児童	マンション敷地内での実施場所	職員配置［指導員の配置］	運営補助金	保育料、開所日・時間
完全に協力	民設放課後児童クラブ	地域児童	外部から自由に入室可能な場所	２人以上［１人以上］	利用可	本市と同じ
概ね協力	民設放課後児童クラブ	マンション児童優先	外部から制限付きで入室可能な共用施設	２人以上［１人以上］	利用可	本市と同じ
ある程度協力	民設放課後児童クラブ	マンション児童のみ	共用施設	２人以上［１人以上］	利用不可	最低基準以上であれば自由
簡易に協力	見守り保育	マンション児童のみ	共用施設	１人以上［不要］	利用不可	自由

課題は、
①協力要請のため、実現が不透明
②利用ニーズが不透明

効果として、マンション開発の都度に必要となる入室希望児童数に対する受入枠を確保することが可能

15

対応プラン検討内容の詳細

2　増加する地域に特化した方策

○空きのある育成室での受入れ

効果として、ほとんど費用を掛けず、すぐに実施が可能

入室できなかった児童が空きが生じている育成室の入室を希望した場合、空きのある育成室での受入れを進めます。

課題は、育成室までの登室・降室の安全性や方法

○民設放課後児童クラブ（運営補助金なし）の利用料補助の実施

効果として、運営補助金の交付条件が合わないクラブの活用が可能

民設放課後児童クラブ（運営補助金なし）を利用している児童に対し、その利用料の一部を補助します。補助対象は、以下の条件の全てに合致した場合を対象とする予定です。

【事業所への条件】①本市の放課後児童健全育成事業の届出を行い、運営補助金の交付を受けていない
②月額の料金が、基本の利用料（利用時間は本市の留守家庭児童育成室の利用時間内に限る）と習い事等の料金を別に設定している場合
【利用者への条件】①留守家庭児童育成室に在籍していた児童が進級する際に、本市の留守家庭児童育成室を未入室（待機）児童となった場合
②後日に本市の留守家庭児童育成室の入室申請を取り下げていること

課題は、実施可能なクラブ数が不透明

対応プラン検討内容の詳細

3　放課後児童健全育成事業に代わる方策

○太陽の広場、児童館等の活用の積極的な呼び掛け

太陽の広場や児童館、図書館等の活用を積極的に促し、放課後児童健全育成事業以外の利用促進を図ります。
呼び掛けの方法として、ホームページを活用し、特に入室案内において積極的な活用を記載するなど、様々な呼び掛けを行っていきます。

効果として、新たな費用を掛けずに対策が可能

課題は、効果を想定することが困難

○放課後キッズスクエアでの受入れの再開

効果として、長期休業期間中の利用者が育成室を利用しなくなる可能性が高く、入室希望児童数のうち、約100人の利用が見込まれる

未入室（待機）児童が発生した育成室に対し、小学校の空き教室を利用した放課後キッズスクエアの再開を進めていきます。

課題は、実施する場合の場所や事業者の確保が困難

令和８年度（2026 年度）さわる月間

１．会　期　　令和８年（2026 年）６月１３日(土)～７月５日(日)
　　休館日　月曜日

２．会　場　　吹田市立博物館　３階　特別展示室

３．開催趣旨
　来館者自らが主体的に能動的に展示資料に触れることは、資料について作り手や使い手などに自分なりの思いを馳せ､展示物やその背景にある地域の歴史や文化を大切に思う気持ちを育む機会となる。「さわる」という行為、さらに視覚、聴覚、嗅覚など他の感覚によって資料に向き合うことで、モノに対する理解を深め、より高度な知的欲求を促すことができるような博物館体験の場を提供するものである。
　また、この期間に集中的に展示物に触れることに関連するイベントを開催することで多くの方々にご来館いただき、展示物に触れ学ぶことの意義を共に考える機会とする。

４．関連イベント（予定）
　講演会　　１回
　ボランティアによる体験講座　　１回
　　福祉ボランティアの方による体験講座「わくわく体験」
　展示案内・展示解説　　８回
　　福祉ボランティアの方による展示案内

５．予算
　１９万円

吹田市立博物館　令和8年度(2026 年度)

さわる月間



さわってみよう！
いろんな道具
＊写真は過去の様子です



令和8年(2026 年)

6月13日(土)～7月5日(日)

＊6月 13 日(土)、6月 20 日(土)は無料観覧日

開館時間　午前9時 30 分～午後5時 15 分
休 館 日　月曜日
観 覧 料　大人200円(160円)　高・大学生100円(80円)
　　小・中学生50円(40円)
＊( )内は20名以上の団体料金
＊市内在住の 65 才以上の方は 100 円。
　市内の小・中学生は無料。

吹田市立博物館
SUITA CITY MUSEUM
〒 564-0001
吹田市岸部北4丁目 10 番1号
TEL: 06-6338-5500　FAX: 06-6338-9886
＊電話のお掛け間違いにご注意ください
https://www.city.suita.osaka.jp/museum/

関連イベント

講演会＆ワークショップ
「なぜ『さわる展示』はインクルーシブではないのか ――『一神論／多神論』からの考察」

近年、各方面で「分断」が深刻化しています。者と物の距離を縮め、自他を一体化するのが触覚の特徴です。今こそ、人類はしっかり物にさわり、つながり合うべきでしょう。
物を介して、者と者が身体的・精神的に近づく。その第一歩が博物館から始まります！
ワークショップも同時開催します。

日　時：6月 27 日(土)　午後2時～3時 30 分
講　師：広瀬浩二郎氏（国立民族学博物館教授）
会　場：2 階講座室
定　員：先着 100 名
参加費：無料

わくわく体験　＊無料観覧日



日　時：6月20 日(土)午前10時～午後3時30分
申　込：不要
内　容：点字体験（名刺・しおり）、フェルトでロバづくり、
　　イラストに点字を入れよう、点字つきさわる絵本、
　　点字絵本の読み聞かせ、視覚障がい者による触読朗読（11:30～、13:30～）
会　場：3階ロビー
参加費：無料

ボランティアによる展示案内

日　時：6月 13 日(土)、14 日(日)、20 日(土)、21 日(日)、27 日(土)、28 日(日)、
　　7月4日(土)、5日(日)
　　いずれも午前11 時～3 時 30 分
申　込：不要
参加費：要観覧料　＊6月 13 日(土)、6月 20 日(土)は無料観覧日

交通案内

●JR 岸辺駅下車北口から徒歩 20 分
●JR 吹田駅北口・阪急吹田駅から
　千里中央ゆきバス 4 系統「紫金山公園前」下車徒歩 5 分
　五月が丘南ゆきバス（循環）「五月が丘西」下車徒歩 7 分
　桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩 10 分
●JR 吹田駅中央口から
　桃山台駅前バス「佐井寺北」下車徒歩 10 分
●阪急南千里駅から
　JR 吹田ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩 10 分
●北大阪急行千里中央駅・阪急山田駅から
　JR 吹田ゆきバス 4 系統「紫金山公園前」下車徒歩 5 分
　JR 吹田ゆきバス 12 系統「岸部」下車徒歩 10 分
●お車の場合は、五月が丘方面からお回りください。（吉志部神社側からは車は進入できません）
●道路案内では博物館駐車場前の「吹田市立佐井寺中学校」を目的に設定してください。



このチラシは 15,000 部作成し、1枚あたりの単価は 2 円です。

令和８年度（2026 年度）夏季展示

１．名　称　「吹田の自然と環境」（仮題）

２．会　期　　令和８年（2026 年）７月１８日(土)～８月２３日(日)
　　休 館 日　月曜日

３．会　場　　吹田市立博物館　３階　特別展示室・ロビー

４．展示主旨
　当館では、平成２１年度（2009 年度）から学校の夏休み期間に開催する夏季展示は、主たるターゲットを子どもにおき、「吹田市の自然と環境」を主題に開催してきました。令和８年度（2026 年度）においても例年どおり同主題で実施します。
　この展示は、市民との協働事業という視点にたち、博物館職員が市民に適宜支援、助言を行いながら展示の企画、準備、運営をおこないます。吹田に残された身近な自然に目を向け、市の魅力として発信し、展示内容に関連した講演会、ワークショップ、工作教室、展示解説などのイベントも盛り込みながら、吹田の自然、環境を考える機会とします。

５．展示予定資料
　吹田市域でみられる動植物資料（剥製・写真・レプリカ等）

６．関連事業（予定）
　講演会、ワークショップ、体験講座、バックヤードツアー

７．予算
　１９０万円

1　標題（□協議　☑報告　□レク）

令和８年度 第43回吹田青少年さつき音楽祭の開催結果について

2　目的

吹田市の青少年を対象に、日頃学校等のクラブや地域の中で活動しているグループに発表の機会を提供し、グループ間の親睦を図るとともに、参加した青少年全員の交流の場としています。

■名 称：第43回吹田青少年さつき音楽祭（旧 吹田青少年野外コンサート）

■開催場所：吹田市文化会館メイシアター 大ホール

■開催日：令和８年６月７日（日）

■プログラム：別紙参照

3　今年度及び過去３年間の参加団体数＞

	市内中学校	市内高校	市外高校	市内大学	その他	ゲスト	計
Ｒ８年度	13	3	1	3	1	1	22
Ｒ７年度	11	2	1	3	1	1	19
Ｒ６年度	10	2	1	3	0	1	17
Ｒ５年度	7	1	1	1	0	0	10

※令和６年度からメイシアターで開催（それまでは千里南公園野外ステージで実施）

4　事業成果

直近10年間で最も多い22団体に出演いただき、4,000人の参加により、盛大に開催され、無事に終えることができました。また、学校長やクラブ顧問、保護者などが子供たちの日ごろの練習の成果発表を応援するために続々と駆け付け、メイシアター大ホールは大変にぎわっていました。

参加団体どおしの交流や応援のほか、ゲストの演奏では、出演団体は自分たちの目標として、その演奏に聞き入る姿も見られました。

第43回吹田青少年さつき音楽祭　プログラム

2026年６月７日(日)　吹田市文化会館(メイシアター)大ホール

(観覧自由/無料)

【第１部】１１時～１２時４５分

出演順	団　体　名	演　奏　曲　目
1	吹田市立第六中学校 音楽部	マツケンサンバ 学園天国 夏祭り
2	吹田市立第五中学校 吹奏楽部	アルセナール 恋するフォーチュンクッキー
3	吹田市立第三中学校 吹奏楽部	スター・ファンタジー RPG
4	吹田市立青山台中学校 ギターマンドリン部	豊臣兄弟！メインテーマ ようかい体操第一
5	吹田市立西山田中学校 吹奏楽部	宇宙戦艦ヤマト(SKA Ver.) 学園天国
6	吹田市立第二中学校 吹奏楽部	Top of the World ゲッタバンバン
7 （ゲスト）	吹田市吹奏楽団	映画「もののけ姫」より[アシタカとサンPiano Solo Feature] サウンドオブミュージックメドレー

【第２部】１３時３０分～１５時１５分

出演順	団　体　名	演　奏　曲　目
8	吹田市立片山中学校 吹奏楽部	あつまれ　おもちゃのマルチャ！ おじゃ魔女カーニバル！
9	吹田市立豊津西中学校 吹奏楽部	いつも風　巡り会う空
10	吹田市立千里丘中学校 吹奏楽部	あつまれ　おもちゃのマルチャ！ Top of the World
11	Suita Junior Wind Band	Global Variations It's a small world
12	吹田市立豊津中学校 吹奏楽部	クラッシック・メドレー　Brass Rock あつまれ　おもちゃのマルチャ！
13	吹田市立第一中学校 吹奏楽部	Arcadia　アルカディア ふるさと
14	吹田市立古江台中学校 吹奏楽部	あつまれ　おもちゃのマルチャ！ アフリカン・シンフォニー

【第３部】１５時３０分～１７時３０分

出演順	団　体　名	演　奏　曲　目
15	吹田市立高野台中学校 合唱部	SAKURA　さくら 群青
16	大和大学 合唱部	「カヴァレリア・ルスティカーナ」より復活祭の合唱 「レ・ミゼラブル」より民衆の歌
17	大阪高校 吹奏楽部	青銅の騎士 銀河鉄道999
18	大阪学院大学高等学校 吹奏楽部	課題曲「南風のマーチ」 好きすぎて滅!
19	大阪府立山田高等学校 吹奏楽部	あつまれ　おもちゃのマルチャ！ TURANDOT(トゥーランドット)
20	大阪府立千里高等学校 吹奏楽部	RPG Paradise has no boader
21	大和大学 吹奏楽部Joie	好きすぎて滅! 白磁の月の輝宮夜
22	関西大学 吹奏楽サークルBis	五月の風 メリー・ゴー・ラウンド

※出演団体の準備が整い次第、演奏を開始するため、時間が早まる可能性がございます。

振袖をあきらめない二十歳へ

～振袖着用支援プロジェクト始動～

吹田市二十歳を祝う式典実行委員会は、二十歳を祝う式典の対象者に振袖の購入またはレンタル等に要する費用を助成する「振袖着用支援プロジェクト」を始めました。

この取り組みは、振袖を着用して式典に出席したいが、経済的な余裕がないために式典への出席をためらっている方を支援しようと企画したもので、振袖の購入やレンタル、小物や前撮り写真、ヘアセットなどにかかる費用の一部を補助します。費用はこのプロジェクトに賛同いただいた方の寄附やクラウドファンディングで賄います。

1　対象者（以下のいずれにも該当する方）

（1）吹田市二十歳を祝う式典の対象者（平成 18 年（2006 年）4 月 2 日から平成 19 年（2007 年）4 月 1 日までに生まれた方）

（2）吹田市二十歳を祝う式典に出席する意思がある方

（3）経済的な理由で振袖を用意できない方

（4）振袖を購入又はレンタルする方

2　助成額

1 人当たり 20 万円を限度

3　対象となる費用

振袖の購入又はレンタルに要する費用

（衣装に付属する小物や前撮り写真、ヘアセットを含む。）

4　募集人数

50 人

※寄付金合計金額が 1,000 万円に満たない場合は金額に応じた人数

※事前に定められた振袖着用支援プロジェクト助成金審査基準に基づき吹田市二十歳を祝う式典実行委員会が提出された作文を審査

5　受付期間

令和 8 年 5 月 20 日（水）～6 月 26 日（金）

6　応募方法

振袖着用支援プロジェクト助成金応募用紙及び作文を持参又は郵送により提出

作文のテーマ：「吹田市二十歳を祝う式典に振袖を着用して参加したい私の想い」

■経済的な理由で振袖を着られない方に支援を！

二十歳を祝う式典は、家族や地域への感謝を伝え、新たな決意を胸に将来へ向かう、人生の大きな節目となるイベントです。このような一生に一度の場に、経済的な理由で振袖を購入したり、レンタルしたりする余裕がなく、式典への出席を諦めている若者がいます。そんな未来ある若者の背中を押し、一生で一度の思い出づくりができるよう、ぜひ寄付をお願いします。

➢　寄付金の使途

対象者の振袖の購入又はレンタル（小物や前撮り写真、ヘアセット含む）に係る費用（1 人当たり 20 万円を限度）とその助成に要する経費として使用します。

➢　振込先

りそな銀行千里支店　普通　0348639

口座名義：吹田市二十歳を祝う式典実行委員会

※恐れ入りますが振込手数料は御負担願います。

※寄付金控除の対象にはなりません。

■クラウドファンディングも実施しています！

詳細は https://readyfor.jp/projects/furisode をご参照ください。

1　標題　（□　協議　　☑　報告　　□　レク）

令和８年度（第78回）吹田市二十歳を祝う式典について

2　開催内容

（1）名　　称：第78回　吹田市二十歳を祝う式典
（2）目　　的：二十歳となる青年を成人の日に祝福し励ますとともに、この式典を契機として、人と人との出会いとふれあいを大切にするため、青少年関係団体の協力を得て、対象者で構成する式典実行委員会と連携し、各種催しを実施する。
（3）開催日時：令和９年（2027年）１月11日（月・祝）　午前10時30分～
（4）開催場所：Panasonic Stadium Suita　（市立吹田サッカースタジアム）
（5）対 象 者：平成18年（2006年）４月２日～平成19年（2007年）４月１日生まれ
（6）そ の 他：プログラムなどの式典の詳細については、今後決まり次第報告します。

別紙資料

1　令和７年度（2025年度）実施事業教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

2　「吹田市子ども・若者総合相談センター　ぷらっとるーむ吹田」

別紙資料1

令和７年度（2025 年度）実施事業

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書（たたき台）

地域教育部所管分

令和８年（2026 年）６月

吹田市教育委員会

■報告書の位置づけ

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、令和７年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会自らが、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行い、結果をまとめるものです。本報告書については秋頃、市ホームページ等を通じて公表します。

■報告書の見方

令和７年度中に実施した教育委員会の権限に属する事務を、令和７年３月に施行した吹田市教育ビジョンに定める３つの「重点課題」及び６つの「基本方向」ごとに点検・評価を行いました。

・令和７年度実施事業の点検・評価（重点課題及び基本方向）について
担当室課にて令和７年度中に実施した取組内容について、「取組名」、「取組概要」、「活動実績」、「課題」、「主な経費」、「今後の方向性」について記載しています。

・指標について

評価……ねらいの達成状況を示しています。

Ａ：達成（目標に対し順調に進めることができた）
Ｂ：一部達成（目標の一部のみ進めることができた）
Ｃ：未達成（取組を進めたが目標に達しなかった）

重　点　課　題

重点課題	2　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実
取組項目	1　複雑化・複合化した課題を有する子供・若者の早期発見・早期支援

取組名	子供・若者支援の周知・支援につながるきっかけづくり
取組概要	「子ども・若者総合相談センター」案内カード及び支援機関一覧「子ども・若者支援マップ」を学校を含む支援機関に配付し、支援が必要な子供・若者の早期発見・早期支援につながるきっかけづくりを行います。
活動実績	・「子ども・若者総合相談センター」案内カードの配付（17,550枚） 吹田市立中学校　18校 吹田市内高校　８校 ・「子ども・若者支援マップ」の配付（3,000部） 吹田市立中学校　18校 吹田市内高校　８校 その他支援機関　143機関
課題	中学生や高校生だけでなく、大学生に対する周知の必要性があります。
主な経費	人件費（青少年相談員）　46,366千円 需用費（案内カード及び支援マップ）　377千円
今後の方向性	継続（現状どおり） 学校や関係機関を個別訪問し、引き続き「子ども・若者総合相談センター」の周知を図っていきます。また、今後は中学校や高校だけでなく、市内の大学への周知にも注力していきます。
担当室課名	青少年室

重点課題	2　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実
取組項目	1　複雑化・複合化した課題を有する子供・若者の早期発見・早期支援

取組名	複雑化・複合化した課題を有する子供・若者の早期発見から支援の強化
取組概要	世帯全体が複雑化・複合化した課題があり、支援が必要でありながら支援を求めることができない子供・若者を早期発見し、アウトリーチ型の支援を強化して関係機関と連携しながら伴走型の支援を行います。
活動実績	・教育、福祉、雇用、保健などの関係機関との協議回数 令和７年度　1,299回 令和６年度　1,367回 ・相談者の家庭訪問だけでなく、就労先や学校の見学、病院受診、行政手続などへのアウトリーチ型支援回数 令和７年度　332回 令和６年度　365回
課題	複雑化・複合化したケースでは、関係性構築が困難のケースがあります。
主な経費	人件費（青少年相談員）　46,366千円【再掲】
今後の方向性	継続（現状どおり） 関係性構築が困難なケースに対しては、発見段階から早期に介入し、相談対象者と関係性を構築できるように支援していきます。
担当室課名	青少年室

重点課題	2　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実
取組項目	2　誰一人取り残さない子供・若者支援を行うための関係機関連携

取組名	子ども・若者支援地域協議会における連携の強化
取組概要	教育、福祉、雇用、保健、医療、矯正、更生保護等の39機関で構成される同協議会において、こども家庭庁の「こども・若者支援体制整備及び機能向上事業」を活用し連携の強化を図った。
活動実績	子ども・若者支援地域協議会実施回数 ・令和７年度　代表者会議：１回/実務者会議：５回 ・令和６年度　代表者会議：１回/実務者会議：４回 「高校生年代の支援体制」や「重層的支援体制整備事業との連携」について、課題の共有や意見交換を行い関係機関の連携の強化を図りました。
課題	複雑化・複合化した相談ケースが増加傾向にあり、より関係機関が連携した支援を行う必要があります。
主な経費	人件費（青少年相談員）　46,366千円【再掲】
今後の方向性	継続（現状どおり）
	各機関の支援における課題等を把握し、より効果的な協議会運営を実施していきます。
担当室課名	青少年室

重点課題	2　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実
取組項目	2　誰一人取り残さない子供・若者支援を行うための関係機関連携

取組名	他の協議会との連携の強化
取組概要	要保護児童対策地域協議会や生活困窮者支援会議、重層的支援体制整備事業との連携を強化します。
活動実績	・要保護児童対策地域協議会との連携 12回 ・生活困窮者支援会議との連携 ３回 ・重層的支援体制整備事業との連携 ２回
課題	複雑化・複合化したケースでは、相談対象者と支援機関との関係性構築が困難なケースがあります。
主な経費	人件費（青少年相談員）　46,366千円【再掲】
今後の方向性	継続（現状どおり）
	他の協議会等との連携については、相談対象者を発見した段階から、より早期に支援できるように連携していきます。
担当室課名	青少年室

重点課題	2　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実
取組項目	2　誰一人取り残さない子供・若者支援を行うための関係機関連携

取組名	学校との連携
取組概要	課題を有する子供・若者の早期の発見の場である中学校や高校等との連携を強化し、進学就労等社会的自立までの支援を強化します。
活動実績	・市内中学校及び高校から子ども・若者支援地域協議会調整機関へ引継を行った件数 令和７年度　中学校：14件 高　校：７件 令和６年度　中学校：13件 高　校：２件
課題	教員を含め学校関係者に対する周知が必要です。
主な経費	人件費（青少年相談員）　46,366千円【再掲】
今後の方向性	継続（現状どおり）
	校長及び教頭だけでなく、他の教員も含め「子ども・若者総合相談センター」のさらなる周知を図っていきます。
担当室課名	青少年室

重点課題	2　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実
取組項目	3　切れ目のない支援体制の強化

取組名	切れ目のない支援体制の強化
取組概要	切れ目なく支援することで中学校卒業後も安定した高校生活等をおくれるように、要保護児童・要支援児童に登録されている中学３年生を対象に、要保護児童対策地域協議会から子ども・若者支援地域協議会への引継を行います。
活動実績	要保護児童対策地域協議会から子ども・若者支援地域協議会へ引継を行った中学３年生の件数 　７件
課題	引継を行う際、相談対象者との関係性構築に時間を要するケースがあります。
主な経費	人件費（青少年相談員）　46,366千円【再掲】
今後の方向性	継続（現状どおり）
	引継対象者を両協議会で確認後、早期に引継ぎ支援を行っていきます。
担当室課名	青少年室

重点課題の指標

重点課題２　誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実

指標名	子ども・若者総合相談センター新規相談件数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
件数	296件	297件	298件					368件
評価		B	B					
備考	計画期間の目標値達成までの増加率ではないものの、前年度比では増加しているため。							

指標名	子ども・若者総合相談センター社会参画件数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
件数	90件	89件	115件					121件
評価		B	A					
備考	計画期間の目標値達成までに必要な増加率を超えているため。							

基 本 計 画

基本方向	4　安心・安全で豊かな学校環境を整備します
施策	15　安心・安全な学校・園の整備

取組名	こども110番見まもり活動の支援
取組概要	登下校時における児童の安全確保に向けた取組として、各小学校区のこども110番の家推進団体及び見守りボランティアへ必要物品等の支援を通じて、児童を取り巻く安心・安全な環境支援に努めます。
活動実績	こども110番の家 令和７年度　旗の提供数　1,371本　プレートの提供数　720枚 令和６年度　旗の提供数　1,208本　プレートの提供数　415枚 こども見まもり活動 令和７年度　市内小学校35校中28校へ必要物品を配布 令和６年度　市内小学校36校中31校へ必要物品を配布
課題	子ども達が助けを求められる場所の明示や被害発生の抑止効果を果たす旗やプレートが、物価高による単価の上昇により支給できる数が減少しています。
主な経費	消耗品費（こども110番見まもり活動支援用品等）　789千円、保険料（こども110番の家災害見舞金）160千円 計 949千円
今後の方向性	継続（現状どおり） 今後も、こども110番の家の見守り活動が継続して活動ができるように、必要物品等の支給を通じて支援に努めます。
担当室課名	まなびの支援課

基本方向	5　青少年の健やかな育ちを支援します
施策	18　地域全体での青少年育成活動の推進

取組名	青少年指導者講習会の実施
取組概要	青少年を取り巻く社会環境について理解を深め、地域で青少年に関わる指導者の育成を図ることで、地域の大人の目と心で子供を見守り、育てる環境作りを進めます。
活動実績	「不登校の現状とその対応」「青少年をトラブルから守る安心・安全なインターネットSNS利活用講座」等、現在の青少年を取り巻く課題をテーマとして、啓発・情報共有し、指導者育成に取り組みました。 ・青少年指導者講習会 延べ実施回数　令和７年度　７回、令和６年度　７回 延べ参加者　令和７年度　243人、令和６年度　294人 動画配信による動画視聴者　令和７年度　55人、令和６年度　46人
課題	受講者が増える講習内容及び参加しやすい受講方法の構築が必要です。
主な経費	報償費（講師謝礼金）　111千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し） 引き続き、地域の幅広い世代、分野の方々の協力を得られるよう講習会を開催するとともに、より多くの方が参加できるようオンライン受講やアーカイブ配信等、多様な受講方法を取り入れながら、指導者の育成を進めます。
担当室課名	青少年室

基本方向	5　青少年の健やかな育ちを支援します
施策	18　地域全体での青少年育成活動の推進

取組名	地域における体験活動や学習機会の提供及び見守り活動
取組概要	自然体験をはじめとする多様な体験や学習の機会、様々な人との交流の機会を提供し、青少年の主体的な取組を支援することで豊かな人間性や社会性を育み、青少年の健全育成に取り組みます。
活動実績	・地域教育協議会(18地区)による地域教育活動や学校教育支援事業の実施 延べ実施回数　令和７年度　235回、令和６年度　212回 ・青少年対策委員会(33地区)による体験活動の場の提供 延べ実施回数　令和７年度　352回、令和６年度　336回 ・吹田青少年さつき音楽祭の開催 出演団体数　令和７年度　19団体、令和６年度　17団体 観客数　令和７年度　3,000人、令和６年度　2,000人 ・ヤングフェスティバルの開催 出演団体数　令和７年度　20団体、令和６年度　17団体 観客数　令和７年度　600人、令和６年度　700人 ・吹田市青少年指導員会広報誌「青少年すいた」を発行（36,000部） ・吹田市青少年指導員会ホームページ「すいせいプレス」の 管理・運用・更新 ・危険防止看板・健全育成のぼりの点検と設置及び 危険防止看板新デザイン募集（デザイン応募総数：27作品） ・「子供・若者育成支援推進強調月間」啓発チラシ作成 （川柳応募総数：5,108作品） ・青少年指導員による全市一斉合同パトロールを実施（年２回）
課題	青少年指導員の担い手不足
主な経費	補助金（地区青少年健全育成事業）　14,953千円 人件費（青少年指導員報酬）　9,168千円 委託料（地域教育コミュニティ事業）　8,814千円
今後の方向性	継続（現状どおり） 引き続き、身近な地域の方々の協力を得ながら、多様な体験活動の場を提供し、健全育成を図るとともに非行防止の取組を地域全体で進めます。
担当室課名	青少年室

基本方向	5　青少年の健やかな育ちを支援します
施策	19　遊びや体験活動の推進

取組名	青少年施設における体験活動事業の実施及び交流の場の提供
取組概要	自然環境を生かした体験活動の場や居場所を提供し、青少年の自主性や社会性を育み、成長を支援します。また、人と人との交流を通じて、人権感覚豊かな青少年の育成に取り組みます。
活動実績	・自然体験交流センター 利用者数　令和７年度　45,571人、令和６年度　44,278人 ・自然の家 利用者数　令和７年度　20,686人、令和６年度　25,837人 ・青少年活動サポートプラザ 利用者数　令和７年度　178,526人、令和６年度　174,737人 ・青少年クリエイティブセンター 利用者数　令和７年度　46,891人、令和６年度　51,464人
課題	・青少年クリエイティブセンターの経年劣化による老朽化が進行しています。また、青少年を取り巻く環境が施設開設時と大きく変化しており、新たなニーズへの対応が必要となっています。 ・自然の家近辺では熊出没の目撃情報が複数寄せられているため、より安全・安心に施設を利用してもらうための方策が必要となっています。
主な経費	委託料（自然体験交流センターの指定管理）　87,613千円 （自然の家の指定管理）　76,000千円 （青少年活動サポートプラザの指定管理）　64,810千円 人件費（子どもクラブ指導員）　7,970千円 報償費（講師謝礼金）　3,716千円
今後の方向性	拡充 青少年クリエイティブセンターの建替えを検討するため、施設の概要や基本的な方向性・コンセプトを盛り込んだ基本構想の策定を行います。
担当室課名	青少年室、青少年クリエイティブセンター

基本方向	5　青少年の健やかな育ちを支援します
施策	21　放課後の居場所づくりの充実

取組名	こどもプラザ事業の実施
取組概要	放課後の居場所や週末等の体験活動の場や機会を提供し、学年の異なる子供が一緒になって遊び、活動することで子供の自主性・協調性・創造性を育み、子供が安心して安全に過ごせることを目的としています。
活動実績	・太陽の広場 延べ実施回数　令和７年度　1,684回、令和６年度　1,738回 延べ参加者　令和７年度 158,587人、令和６年度 170,601人 ・地域の学校 延べ実施回数　令和７年度　547回、令和６年度　416回 延べ参加者　令和７年度　7,313人、令和６年度　7,610人
課題	担い手の高年齢化及び共働き世帯の増加等による地域の人材不足
主な経費	委託料（こどもプラザ事業）　25,235千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し） 担い手の高年齢化や共働き世帯の増加等による人材不足から、地域が主体で実施している「放課後の居場所づくり」事業の継続が難しくなっています。地域の負担を軽減し、持続可能な事業とするための取組を進めます。
担当室課名	青少年室

基本方向	5　青少年の健やかな育ちを支援します
施策	21　放課後の居場所づくりの充実

取組名	留守家庭児童育成室の充足
取組概要	保護者が仕事などで、放課後や長期休業中等に保育ができない児童（小学１～４年生）の健全育成を図るために、安全な遊びの場と生活の場である留守家庭児童育成室を待機児童が生じないように整備していきます。
活動実績	（１）留守家庭児童育成室開設教室数　150教室（17教室増） （２）留守家庭児童育成室入室児童数　5,907人（512人増） （３）入室児童受入れのための委託化　４か所増（計20か所委託） （４）民設民営の施設整備補助金の交付　１か所（令和８年４月１日開設）
課題	入室希望児童数が年々増加しており、学校敷地内で育成室の教室を確保することが困難となっています。さらに、指導員等の確保も難しく、結果として年度当初に待機児童が生じています。
主な経費	・人件費（留守家庭児童育成室の指導員、補助員等）　1,231,852千円 ・委託料（委託留守家庭児童育成室の運営費用等）　1,267,204千円 ・使用料及び賃借料(留守家庭児童育成室のプレハブリース料等）128,149千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し） 待機児童を生じさせずに、将来にわたって持続可能な留守家庭児童育成室の運営とするため、（仮称）放課後児童クラブ入室希望児童数増加への対策検討プラン（案）を作成し、これまでの実施手法にこだわらず、様々な手法を検討し課題に取組みます。
担当室課名	放課後子ども育成室

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	22　生涯学習プログラムの充実

取組名	生涯学習活動の支援
取組概要	あらゆる世代の生涯学習活動を支援するため、大学などの関係機関との連携や地域の人材の活用を通じて、さまざまな講座を実施するなど、学習機会の充実を図ります。
活動実績	生涯学習吹田市民大学講座の開催 連携大学　関西大学　千里金蘭大学　大阪学院大学 ・合計開催回数　　・参加者数 令和７年度　13回　　令和７年度　1,302人 令和６年度　14回　　令和６年度　1,511人 公民館でのICT講座の開催 ・合計開催回数　　・参加者数 令和７年度　30回　　令和７年度　257人 令和６年度　27回　　令和６年度　246人
課題	生涯学習吹田市民大学講座では、一部リアルタイム型の配信を実施しましたが、オンラインの受講者が大きく減り、配信にかかる費用対効果や著作権等の課題があります。またシステム対応が属人的になっていることも課題です。
主な経費	報償費（講師謝礼金）　886千円 印刷製本費（チラシ等）　632千円
今後の方向性	継続（現状どおり）
	大学が持つ専門的見地を活かした講演内容の充実を図るとともに、多様な学習環境の整備の方策について検討します。またICTの活用につながる講座を、引き続き実施します。
担当室課名	まなびの支援課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	23　循環型の生涯学習社会の実現

取組名	地区公民館活動の充実
取組概要	市民が公民館等で学んだ成果をボランティア活動や地域活動に活かすことによって、コミュニティの活性化に繋げるよう支援していきます。
活動実績	地区公民館主催講座の参加人数 令和７年度　43,152人 令和６年度　39,803人 地区公民館グループ活動の参加人数 令和７年度　142,056人 令和６年度　150,358人 地区公民館グループ活動の経験を地域活動などに活かした人数 令和７年度　1,109人 令和６年度　－
課題	地区公民館主催講座やグループ活動等の学習機会の充実
主な経費	報償費（講師謝礼金）　8,575千円
今後の方向性	継続（現状どおり）
	循環型の生涯学習社会の実現のためには、継続的な学習活動を支援することが不可欠であり、引き続き主催講座の充実のため、各地区への情報共有を図ります。また、自主的なグループ活動の継続のため、活動の場を提供します。
担当室課名	まなびの支援課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	24　図書館を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	市民ニーズに対応した図書館資料の収集・提供と読書活動支援
取組概要	市民のニーズに対応した多種多様な資料を計画的に収集、保存、提供することで生涯学習や自由な読書活動を支援します。
活動実績	・年間入館者数 令和７年度　約219.6万人　令和６年度　約210.8万人 ・年間貸出数 令和７年度　約363.7万点（うち電子書籍　約14.9万点） 令和６年度　約378.5万点（うち電子書籍　約12.5万点） ・吹田市立小・中学校への図書の貸出 令和７年度　約2.8万冊　令和６年度　約2.8万冊
課題	年間入館者数は、前年度から約８万８千人増え、居場所としての役割を果たしています。しかしながら、年間貸出数は昨年度から14.8万点減となったため、効果的な利用促進策を講じる必要があります。
主な経費	備品購入費（図書等資料購入費）　約6,562万円　通信運搬費（電子書籍、データベース利用料ほか）　約847.8万円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し）
	引き続き、紙の資料、電子書籍を充実し、市民の様々なライフスタイルに対応した資料提供を行うとともに、来館者数を資料の利用に結びつける取組を図ります。
担当室課名	中央図書館

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	24　図書館を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	図書館電算システムの再構築
取組概要	便利で快適に利用できるシステムを目指し、令和８年１月から図書館ホームページと図書館電算システムを更新しました。
活動実績	・ホームページ蔵書検索数 　令和７年度　約1,187.6万件　令和６年度　約1,041.4万件 ・電子書籍貸出数 　令和７年度　約14.9万点　令和６年度　約12.5万点 【対象期間：令和８年１月９日～３月31日】 ・自習室Web予約数　約1,500件 ・Web書棚表示数　　約14.8万件 ・館内書架図表示数　約20.8万件
課題	既に広く利用されているサービスがある一方、まだ十分に認知されていないサービスもあるため、周知・広報を図る必要があります。
主な経費	システム更新分 委託料　87,512千円　使用料及び賃借料　22,654千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し）
	新サービスについて、サービス対象者に応じた情報発信方法や内容を検討し、継続的な情報発信を行い、利用促進を図ります。
担当室課名	中央図書館

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	25　文化財を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	埋蔵文化財発掘調査の実施
取組概要	開発行為により現状保存ができない埋蔵文化財について、工事の前に図面や写真による記録保存を行います。また、出土遺物の整理作業、調査報告書の刊行等を行い、埋蔵文化財の保存と活用を図ります。
活動実績	・発掘調査等の実施 令和７年度　調査件数　143件 （本発掘調査５件、確認調査21件、試掘調査７件、工事立会110件） 令和６年度　調査件数　167件 （本発掘調査３件、確認調査22件、試掘調査７件、工事立会135件） ・発掘調査現地説明会の開催 令和７年度　吹田操車場遺跡発掘調査現地説明会（１月31日） 181名参加 令和６年度　開催なし ・調査報告書の刊行 「令和７年度(2025)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報」300部 「垂水南遺跡発掘調査報告書Ⅴ－垂水南遺跡第64次発掘調査－（遺構編）」300部
課題	発掘調査を担える人材の確保と育成が課題となっています。
主な経費	委託料（埋蔵文化財確認・試掘調査）952千円 印刷製本費（調査報告書）446千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し）
	積極的にデジタル技術を導入し、調査業務の効率化や調査成果の活用のための環境整備行います。
担当室課名	文化財保護課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	25　文化財を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	旧西尾家住宅大規模修繕工事の実施
取組概要	貴重な文化財を良好な状態で確実に将来世代へ引き継ぐとともに、文化財公開施設として、同住宅の持つ価値・魅力を高め、幅広い年齢層が当住宅をめぐる歴史や文化を学ぶことができるよう、修理・整備工事を実施します。
活動実績	・保存修理工事（Ⅰ期工事）の実施（令和４年度～） ・公開活用整備工事の詳細設計の実施 ・修理工事現場見学会の開催（10月／３日間） 令和７年度　参加者　延べ111名 令和６年度　参加者　延べ148名
課題	資材や人件費の高騰等による工事費の増大が課題となっています。
主な経費	工事請負費304,480千円 委託料（設計）56,650千円（監理）36,111千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し）
	今後実施予定の工事については、文化庁とも協議を行いながら、工事内容の精査を行います。
担当室課名	文化財保護課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	25　文化財を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	旧中西家住宅の公開活用に係る連携の取組・発信力の強化
取組概要	貴重な文化財を良好な状態で確実に将来世代へ引き継ぐとともに、見学施設として、同住宅の持つ価値・魅力を高め、幅広い年齢層にその魅力・価値について知っていただけるよう、市内大学や諸団体等との連携による取組及び発信力の強化を行います。
活動実績	・「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」参加など、知名度向上のための取組の実施 ・名勝庭園工作物、施設案内看板の修繕等、公開活用に関する施設の維持管理の実施
課題	文化財の更なる活用のための取組の検討が必要です。
主な経費	建物等修繕料（庭園工作物修繕、施設案内看板修繕ほか）741千円 委託料（警備、清掃・庭園管理、樹木剪定等）5,185千円
今後の方向性	継続（現状どおり）
	今後も、関係団体等との連携等による取組の実施や効果的な発信により、来訪のきっかけ作りを行います。
担当室課名	文化財保護課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	25　文化財を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	博物館展示事業の充実
取組概要	特定のテーマを設定した企画展示を開催し、常設展示とともに吹田の歴史・民俗について市民が学び、理解を深められるよう推進します。
活動実績	・特別展等企画展示の開催数 令和７年度　４回（「むかしのくらしと学校」展を除く） 令和６年度　５回（「むかしのくらしと学校」展を除く） ・常設展示に加えて博覧会関連資料や明かりの道具などの所蔵資料を活用した短期間の展示 令和７年度　４回 令和６年度　６回 ・関連イベント実施数 令和７年度　84回（うち親子・子供向け29回） 令和６年度　77回（うち親子・子供向け26回）
課題	市民の博物館に対する認知を高め、利用者をいかに増加させるかが課題です。
主な経費	委託料（展示・イベント実施関係）3,124千円
今後の方向性	継続（手法・内容の見直し）
	市域の歴史資料の調査研究を進めるとともに、市民ニーズ調査の結果に基づき、「体験」と「子供」をキーワードに常設展示等のリニューアルを図りつつ、展示の充実・体験型イベントの企画を進めます。
担当室課名	文化財保護課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	25　文化財を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	学校教育との連携
取組概要	小中学校の授業の一環等で博物館を利用する機会を提供し、児童・生徒が博物館に親しみを持ち、吹田の歴史を学び、理解を深められるよう取り組みます。
活動実績	・「むかしのくらしと学校」展 令和７年度　団体見学19校、出前授業11校（小学校） 令和６年度　団体見学22校、出前授業10校（小学校） ・キャリア教育授業への講師派遣等 令和７年度　中学校２校 令和６年度　中学校３校 ・職業体験受入れ 令和７年度　中学校４校、教育支援教室１回 令和６年度　中学校３校、教育支援教室２回
課題	小学校３年生の社会科単元に連動した「むかしのくらしと学校」展を開催し、教員アンケートでは体験型展示は高評価を得ていますが、中学生の博物館利用の増加が課題です。
主な経費	委託料（「むかしのくらしと学校」展）350千円
今後の方向性	継続（現状どおり）
	小中学校の授業等における博物館利用の促進に積極的に取り組むとともに、引き続き教育センターと連携し、不登校児童・生徒の支援を行います。
担当室課名	文化財保護課

基本方向	6　生涯を通じて豊かな学びを提供します
施策	25　文化財を通じた豊かな学びの場の提供

取組名	博物館大規模修繕及び常設展示リニューアルに向けた調査・検討
取組概要	より多くの方に安心、快適に博物館を利用していただけるよう、老朽化した設備の更新等を実施します。また、常設展示のリニューアルを行い、来館のたびに新しい発見ができるような展示構成とし、リピーターの増加を図ります。
活動実績	・来館者等アンケートの実施 ・博物館リニューアル基本方針作成 ・展示原案作成 ・展示レイアウト案検討 ・他館の状況調査
課題	常設展示リニューアルに向けての具体的な案の検討、関係する都市計画道路工事に関する調整、紫金山公園魅力向上事業との連携等が課題となっています。
主な経費	人件費のみ
今後の方向性	継続（現状どおり）
	常設展示リニューアルの内容を精査するとともに、関係各所との調整を進めるとともに、最適な施設整備が実施できるよう更なる検討を進めます。
担当室課名	文化財保護課

基本方向の指標

基本方向５　青少年の健やかな育みを支援します

指標名	青少年指導者講習会の年間受講者数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	161人	294人	243人					350人
評価		A	B					
備考								

指標名	青少年施設の年間利用者数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	27.5万人	29.6万人	29.2万人					32.4万人
評価		A	B					
備考								

指標名	太陽の広場などの年間参加者数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	14.5万人	17.8万人	16.6万人					22.7万人
評価		B	B					
備考								

指標名	留守家庭児童育成室の待機児童数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	106人	7	0					0人
評価		B	A					
備考								

基本方向６　生涯を通じて豊かな学びを提供します

指標名	市内大学連携講座の年間延べ受講者数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	773人	1,511人	1,302人					3,000人
評価		B	C					
備考	開催回数が減ったこと等により、前年度実績値を下回ったためＣとした。							

指標名	地区公民館の年間利用者数（オンラインによる講座受講者を含む）							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	31.8万人	32.6万人	32.9万人					46.6万人
評価		B	B					
備考	令和７年度から順次実施している大規模改修工事により、利用できない期間のある館もあったが、前年度の実績値を上回っていることからＢとした。							

指標名	生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	－	－	1,109人					3,000人
評価		－	B					
備考	継続的な学びを支援するため、主催講座等の充実を図ります。							

指標名	図書館の年間入館者数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
人数	209.7万人	210.8万人	219.6万人					222万人
評価		A	A					
備考	最終年度の目標に向けて、前年度増を達成しているため、評価は「A」としました。							

指標名	市民1人当たりの図書館資料（電子書籍を含む）の年間貸出数							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
貸出数	10.2点	9.8	9.4					12点
評価		B	B					
備考	数値は下がりましたが、うち電子書籍については前年度比増であったため取組みは進んでいるものとして、評価は「B」としました。							

指標名	博物館の年間入館者数等							計画期間の目標値
年度	策定時（令和５年度）	（令和６年度）	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	
貸出数	1.6万人	2.0万人	2.2万人					3.5万人
評価		C	B					
備考	目標を大きく下回っていますが、目標達成に向け博物館リニューアル基本方針（素案）、展示原案（素案）を策定しており、最終年度には目標を達成する見込みであるため、評価は「B」としました。							

Ⅳ. 体系図

＜基本構想＞

教育理念

生命（いのち）かがやき　ともにつながり　未来（あす）を拓く吹田の教育

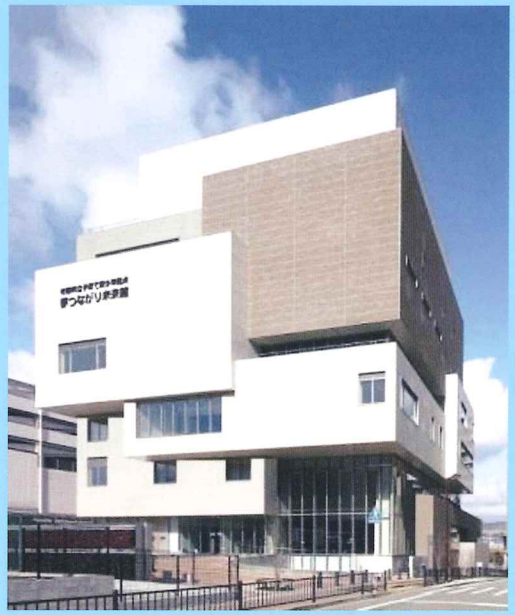
基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3
総合的人間力の育成	社会全体の教育力の向上	豊かな教育環境の整備

＜基本計画＞

基本方向1	幼児教育を通して総合的人間力の基礎を培います	施策1	質の高い幼児教育の提供
		施策2	小学校との円滑な接続を重視した教育内容の充実
		施策3	多様なニーズに応じた子育て支援の推進
基本方向2	義務教育を通して総合的人間力の基礎を培います	施策4	確かな学力の育成
		施策5	豊かな心の育成
		施策6	健やかな体の育成
		施策7	多様な課題に対応する力の育成
		施策8	小中一貫教育の推進
基本方向3	一人ひとりが尊重される学びを推進します	施策9	児童・生徒を支援する生徒指導の充実
		施策10	特別支援教育の充実
		施策11	すべての子供の学ぶ機会の確保
基本方向4	安心・安全で豊かな学校環境を整備します	施策12	教職員の資質能力の向上
		施策13	教員の働き方改革の推進
		施策14	学校・園運営体制の強化・多様な主体との連携
		施策15	安心・安全な学校・園の整備
		施策16	学校規模適正化等の教育環境の整備
		施策17	教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
基本方向5	青少年の健やかな育ちを支援します	施策18	地域全体での青少年育成活動の推進
		施策19	遊びや体験活動の推進
		施策20	子供・若者の支援に関する取組
		施策21	放課後の居場所づくりの充実
基本方向6	生涯を通じて豊かな学びを提供します	施策22	生涯学習プログラムの充実
		施策23	循環型の生涯学習社会の実現
		施策24	図書館を通じた豊かな学びの場の提供
		施策25	文化財を通じた豊かな学びの場の提供

＜重点課題＞

重点課題1	重点課題2	重点課題3
誰一人取り残されない学びの保障の推進	誰一人取り残さない子供・若者支援体制の充実	教員の働き方改革の推進



吹田市立子育て青少年拠点 夢つながり未来館

お問い合わせ

吹田市子ども・若者総合相談センター
ぷらっとるーむ吹田

相談受付専用
ダイヤル　06-6816-8534

※面接を希望される場合は、事前にご連絡ください。スムーズに相談していただけますよう、
相談内容、時間の希望などをお伺いします。

TEL　06-6816-8531

FAX　06-6816-8532

開館時間

月曜日～土曜日／午前１０時～午後8時
日曜日・祝　日／要予約

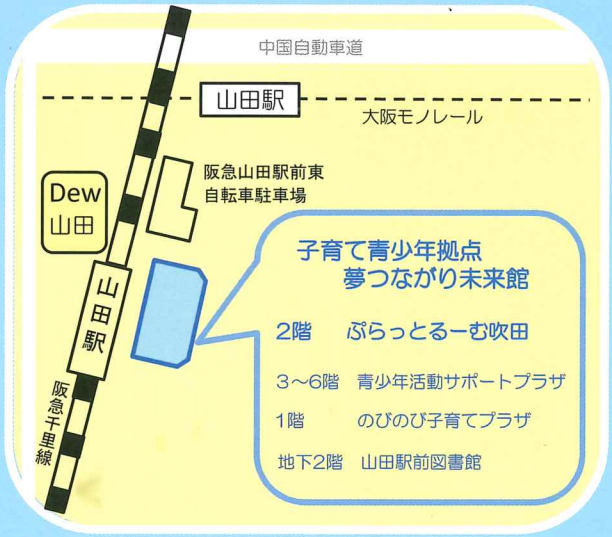
休館日

年末年始／その他　（施設の運営管理上必要な日を随時設定）

交通アクセス

〒565－0824　吹田市山田西4丁目2－43

吹田市立子育て青少年拠点　夢つながり未来館2F



阪急・大阪モノレール「山田駅」下車すぐ

このリーフレットは　部作成し、1部あたりの単価は20.9円です。

別紙資料2

吹田市
子ども・若者
総合相談センター

ぷらっとるーむ吹田

困っていることはありませんか。

一人で悩まず、お電話ください。

39歳までの
子ども・若者の総合相談センターです。

相談受付専用ダイヤル
06－6816－8534



吹田市イメージキャラクター
「すいたん」

こんなことで、困っていませんか？

コミュニケーションが苦手

外に出るのが不安

就職できない

学校に行けない

子どもがひきこもっている

子どもとどう関わってよいか

あなたの悩み、話してみませんか？
できることから一緒に考えます。

【支援の対象】

吹田市在住・在勤・在学の方

様々なお悩みをお持ちの**39歳まで**の
青少年及びその家族

相談の3つのステップ

Step 1 あなたの思い、悩みをお聞かせください

相談するところから**はじめの一歩**が始まります。
まずは**お気軽に問い合わせ**てください。

相談

相談受付専用ダイヤル
（TEL　06－6816－8534）
電話相談：午前10時～午後８時。
日曜日・祝・休日は　午後　要予約
随時受け付けています。
来所相談：予約制です。まずはお電話ください。
訪問相談：必要に応じて行います。

Step 2 個々に応じたサポートを行います

解決方法を**一緒に考え、スモールステップの支援**を行います。

居場所（ひだまり空間）

ほっと安心できるとともに社会とつながるきっかけとなる居場所を開いています。（最長5年）

家族会

同じ体験や悩みを共有できる交流会を行います。

ボランティア活動

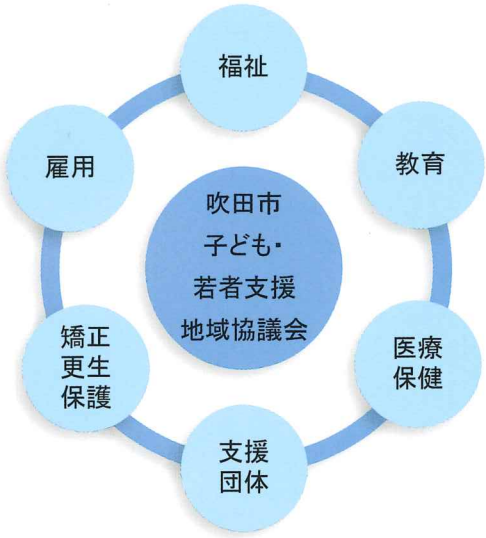
自立に向けての練習として、社会経験の幅を広げます。

Step 3 自立に向けての支援を行います

就職・復学・資格取得など、それぞれの**自立ステップ**に進むため、**関係機関と連携して、継続的な支援**を行います。

支援のネットワーク・情報提供

吹田市では、「吹田市子ども・若者支援地域協議会」を設置し、青少年を**チームで支援**しています。
専門機関と連携しながら青少年の悩みに寄り添った支援方法を一緒に考え、**課題解決のお手伝い**をしています。



講座

コミュニケーション力アップ講座

コミュニケーション力や社会的なマナーなどを身に付けるための連続講座を実施しています。

講演会

ひきこもりやニート、不登校、子育てなどをテーマにした、講演会を開催しています。